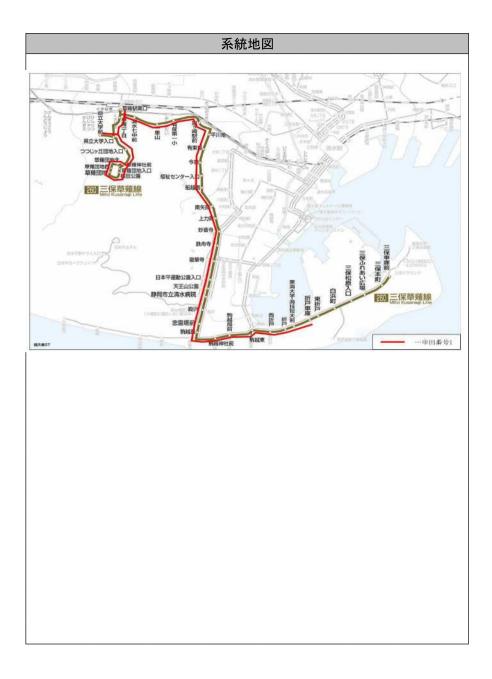
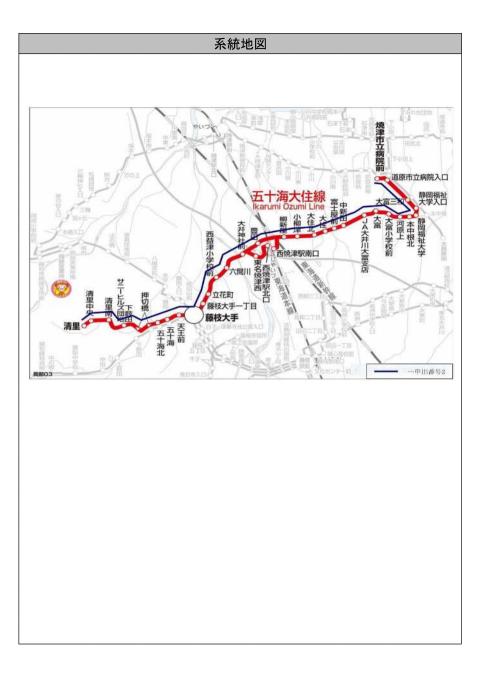
	טיינו) 牛皮连门,	ייי הרניז מונצוב רצ		(<u>1</u> 1()	- 1-7			
系統名		三保草薙線		事業者名	<u>し</u>	ずてつジャストライン			
	起点	経由地	終点						
路線の状況	折戸車庫	草薙団地・ 県立大学前	折戸車庫						
系統キロ程	(km)	24.8	輸送量(送量(人/日) 40.4					
平均乗車密度	(人/便)	4.4	運行回数(回/日) 9.2						
ア <u>公</u>	学校					、清水海上技術短期大学校、清水南高校、 小学校、清水第七中学校			
クザ・ セ*m	病院	市立清水病院							
アクセス状況公共・拠点施設	商業施設	ベイドリーム清	水、イオン清水	店					
光設	その他	日本平運動公	〉園、JR草薙馬	尺、静岡鉄道	直狐ヶ崎駅、 征	卸門台駅、草薙スポーツ広場			
収支率(%) (収益/費用)	46	6.2	乗車人員(人) 118,580						
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 5	名称	拠点:JR草薙駅南口、忠霊塔 バス停:静岡市立清水病院、折戸車庫、県立大学入口、狐ヶ崎駅前、能華寺						
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		6.7							
増収策	・小学校への・バス乗りが・全国IC相互・ICカード電	時刻に合わせだ Dバス教室の9 5リーフレット 互利用の導入 電子マネー機能 ーションシスラ	見施 >の配布 (2013年3月 指搭載	月より)	6年				
費用削減策	・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善(デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導) ・燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制) ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し								
沿線市町の サボート	・静岡市バス路線維持費補助金により、本線の欠損額を全額補填 ・市内転入者へのバス路線図の個別配架、市窓口等へバス路線図の配架 ・市ホームページに路線図及び時刻表のリンクを設定 ・台風等の災害時に運行状況を市ホームページにアップ ・ノンステップバス、燃料電池バスの導入に対する補助制度 ・停留所への上屋、ベンチ等の整備に対する補助制度 ・事業者との連携による企画乗車券の販売 ・バス利用促進のイベントの企画 ・2種免許を持った市職員(退職予定者)に対してバス運転手募集のチラ シを配架								



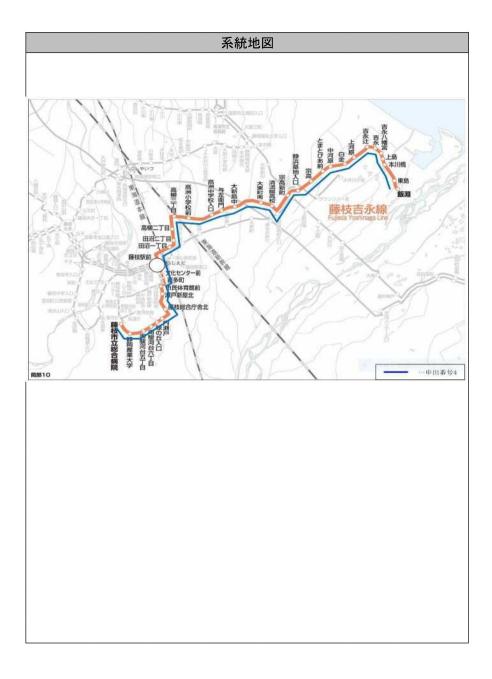
	טיים כ	1年及建17	י א הרויז וווי אצ רו		(DAY)	<u> 17</u>	「秋工CZ 		
系統名		五十海大住線		事業者名	しず	ずてつジャス	ストライン		
	起点	経由地	終点						
路線の状況	清里	西焼津駅	焼津市立 病院						
系統キロ程	(km)	12.4	輸送量(輸送量(人/日) 26.7					
平均乗車密度	(人/便)	3.0	運行回数(回/日) 8.9						
ア公	学校		富小学校·大富中等 、藤枝東高校、藤枝			₹、藤枝西高校、	西益津小学校・西益津中		
ク. セ	病院	焼津市立総合	洽病院						
アクセス状!	商業施設	イオン焼津店							
次 施 況設	その他	JR西焼津駅、	焼津警察署、	焼津市総合	合体育館				
収支率(%) (収益/費用)	4C	.4	乗車人員	(人)		83,97	74		
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 3	名称	拠点:JR西焼漬 バス停:藤枝大						
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		42.1							
增収策	・小学校への・バス乗り方・全国IC相互・ICカード電	 JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学校へのバス教室の実施 ・バス乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入(2013年3月より) ・ICカード電子マネー機能搭載 ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 							
費用削減策	エコドライブの徹底 利用実態に見合った運行便数への改善 燃料消費率の改善(デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導) 燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制) 車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し								
沿線市町の サボート	市LINE及る欠損額を混り路線バスをバスを利用バスマップ高齢者や過	作成のバス路線図に当該路線のバス停を記載 INE及びホームページに事業者ホームページのリンクを設定 員額を沿線市田で補助 泉バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事広報誌に掲載 スを利用し、地域の史跡や自然を鑑賞するツアーによる利用促進事業の実施 スマップ時刻表の配布 給者や運転免許証自主返納者に対してバス券を交付 給者等を対象とした出前講座やイベントを実施							



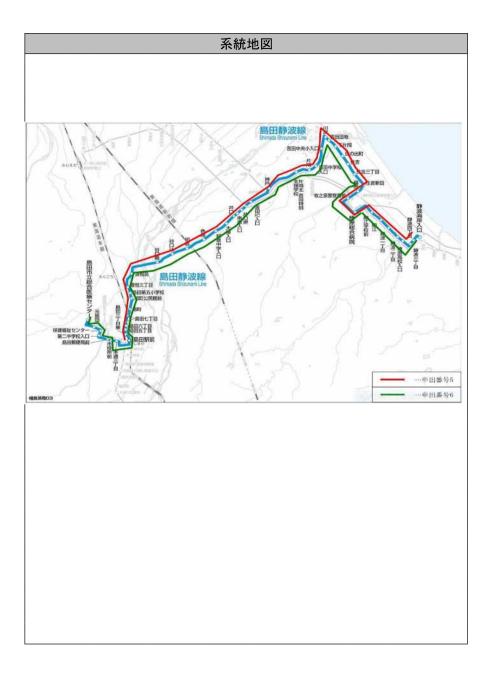
	ا مردر) 十 皮连1J.	יויפרים מוו אול רכ				1,7,7,7			
系統名		焼津岡部線		事業者名	しっ	ずてつジャス	ストライン			
収値の出い	起点	経由地	終点							
路線の状況	焼津駅前	_	岡部営業所							
系統丰口程	(km)	7.2	輸送量(人/日)	54.0					
平均乗車密度	(人/便)	3.0	運行回数(運行回数(回/日) 18.0						
 ア公	学校	焼津高校、焼津東小学校、東益津小学校、東益津中学校、岡部小学校								
アクセス: W - 拠点	病院									
ス状況	商業施設	JA大井川岡	副部支店							
況設	その他	JR焼津駅、関方社会体育広場、藤枝市岡部支所								
収支率(%) (収益/費用)	46	5.2	乗車人員	. (人)		85,72	25			
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停 3	名称	拠点:JR焼津駅 バス停:藤枝市	京:JR焼津駅 停:藤枝市岡部支所前、岡部小学校、坂本						
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		64.7								
増収策	・小学校への・バス乗りが・全国IC相互・ICカード電	行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 へのパス教室の実施 の方リーフレットの配布 相互利用の導入(2013年3月より) ド電子マネー機能搭載 ケーションシステムの運用による利便性向上								
費用削減策	 ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善(デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導) ・燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制) ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し 									
沿線市町の サポート	・市LINE及り・欠損額を浴り・バスを利用・バスマック・高齢者や過	市作成のバス路線図に当該路線のバス停を記載 市LINE及びホームページに事業者ホームページのリンクを設定 R損額を沿線市町で補助 路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事広報誌に掲載 バスを利用し、地域の史跡や自然を鑑賞するツアーによる利用促進事業の実施 バスマップ時刻表の配布 高齢者や運転免許証自主返納者に対してバス券を交付 高齢者等を対象とした出前講座やイベントを実施								



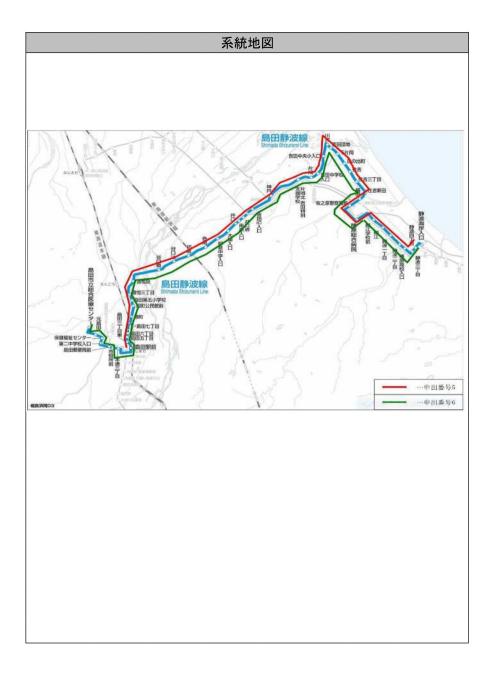
	ב חיירו	1年及建17	ノボがにいれ			_ 1.7	1米北乙		
系統名		藤枝吉永線		事業者名	し	ずてつジャス	ストライン		
DR//4 1115	起点	経由地	終点						
路線の状況	藤枝市立 総合病院	高洲 小学校	飯淵						
系統キロ程	(km)	14.7	輸送量(輸送量(人/日) 45.3					
平均乗車密度	(人/便)	4.2	運行回数((回/日)	10.8				
ア <u>公</u> ア#	学校		学校、大井川東 <u>島小学校、静</u>			高洲小学校・	高洲中学校、藤枝		
ク・セ セ 加	病院	藤枝市立総合	洽病院						
アクセス状!	商業施設	BiVi藤枝							
次設 上	その他 JR藤枝駅、大井川福祉センター、焼津市大井川庁舎、大井川図書 庁舎						書館、県藤枝総合		
収支率(%) (収益/費用)	50	.5	乗車人員	(人)		140,37	79		
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 4	名称	拠点:JR藤枝馴 バス停:飯淵、記			館前			
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		30.9							
増収策	・ JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・ 小学校へのバス教室の実施 ・ バス乗り方リーフレットの配布 ・ 全国IC相互利用の導入(2013年3月より) ・ ICカード電子マネー機能搭載 ・ バスロケーションシステムの運用による利便性向上								
費用削減策	・利用実態に ・燃料消費率 ・燃料使用量	 ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善(デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導) ・燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制) ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し 							
沿線市町の サポート	市LINE及る欠損額を混り路線バスをバスを利用バスマップ高齢者や過	バス路線図に当該路線のバス停を記載 なびホームページに事業者ホームページのリンクを設定 沿線市町で補助 を含めた市内バス路線の現状に関する記事広報誌に掲載 用し、地域の史跡や自然を鑑賞するツアーによる利用促進事業の実施 ブ時刻表の配布 運転免許証自主返納者に対してバス券を交付 を対象とした出前講座やイベントを実施							



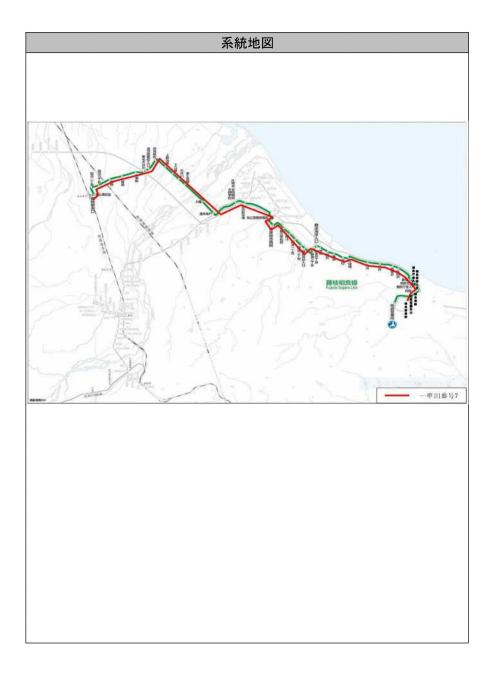
		一块连门。				19 13-24-		
系統名		島田静波線		事業者名	し	ずてつジャストライン		
	起点	経由地	終点					
路線の状況	島田駅	_	静波海岸 入口					
系統十口程	(km)	20.4	輸送量(人/日) 23.1					
平均乗車密度	(人/便)	3.5	運行回数(回/日) 6.6					
ア グ ナ	学校					日中学校、吉田特別支援学校、自疆小学 日校、島田第五小学校		
クサ セ _伽	病院	榛原総合病院	₹					
クセス状況 ・ 拠点施	商業施設	アピタ島田店						
次 施 況設	その他	牧之原市役所	斤、牧之原警察	署、吉田町	J役場、JR島	田駅		
収支率(%) (収益/費用)	37	. .3	乗車人員	. (人)		50,814		
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 3 バス停 3	名称	拠点:JR島田駅 バス停:吉田 I			病院		
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		62.7						
増収策	・ JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・ 小学校へのバス教室の実施 ・ パス乗り方リーフレットの配布 ・ 全国に相互利用の導入(2013年3月より) ・ ICカード電子マネー機能搭載 ・ バスロケーションシステムの運用による利便性向上							
費用削減策	エコドライブの徹底 利用実態に見合った運行便数への改善 燃料消費率の改善(デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導) 燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制) 車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し							
沿線市町の サポート	ページス イージス イージス 関 で で に で に で に で に で に に に に に に に に に に に に に	日ツイッター)にて、バス運行に関する即時性のある情報を発信し、市ホーム公式LINEアカウントからでも、Xの情報が閲覧できるよう設定プの中に、民間路線の路線図等を掲載 治線市町で補助 するバス路線利用促進 舎内にて、路線図や時刻表の配架 へのバス時刻表の配架 ページから運賃・経路検索ホームページへのリンク						



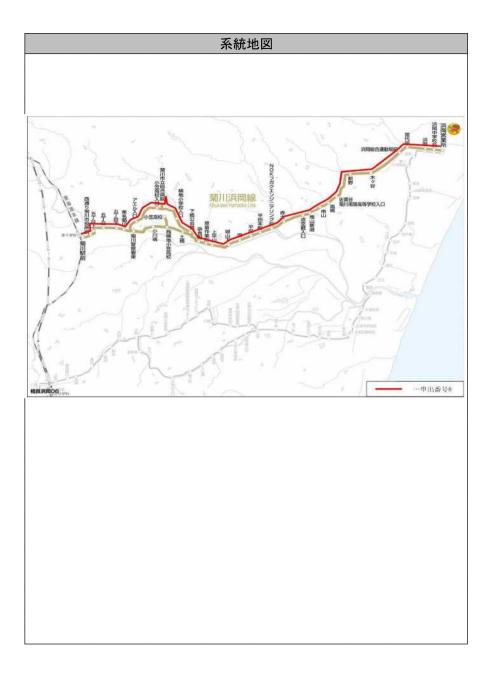
	12/10 C) 牛皮连门,	יויפרעין מוו אוע רע		(41()	- 1.7		
系統名		島田静波線		事業者名	し	ずてつジャストライン		
PR (自 小上)口	起点	経由地	終点					
路線の状況	島田市立 総合医療センター	島田駅前	静波海岸 入口					
系統十口程	(km)	22.7	輸送量(人/日)				
平均乗車密度	(人/便)	3.7	運行回数		7.2			
ア公 ア#	学校	川崎小学校、榛原高 高校、初倉小学校、社 田市立看護専門学校	7)倉南小学校、島田商	小学校、中央小学 「業高校、島田第五	校、吉田中学校、記 小学校、島田第二	吉田特別支援学校、自疆小学校、倉橋学園キラリ 小学校、島田第二中学校、島田第四小学校、島		
ク ^六 ・ セ _m	病院	榛原総合病院	完、島田市立約	総合医療セン	ター			
アクセス状1 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	商業施設	アピタ島田店						
况設	その他	牧之原市役所 張所	、牧之原警察署	8、吉田町役1	場、JR島田駅	、島田年金事務所、静岡家裁出		
収支率(%) (収益/費用)	38	3.3	乗車人員(人) 78,650					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 4 バス停 5	名称	拠点: JR島田駅、島田市立総合医療センター、静波海岸入口、榛原総合病院、 バス停: 吉田 I C入口、井口堺、色尾、本通三丁目、保健福祉センター					
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		54.1						
増収策	JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 小学校へのバス教室の実施 バス乗り方リーフレットの配布 全国IC相互利用の導入(2013年3月より) ICカード電子マネー機能搭載 バスロケーションシステムの運用による利便性向上							
費用削減策	・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善(デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導) ・燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制) ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し							
沿線市町の サポート	ページ、市丘 ・バス ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 り ・ 大 り で り で り で り で り で り で り で り で り で り	ヨツイッター)にて、バス運行に関する即時性のある情報を発信し、市ホーム 公式LINEアカウントからでも、Xの情報が閲覧できるよう設定 プの中に、民間路線の路線図等を掲載 台線市町で補助 するバス路線利用促進 舎内にて、路線図や時刻表の配架 へのバス時刻表の配架 ページから運賃・経路検索ホームページへのリンク						



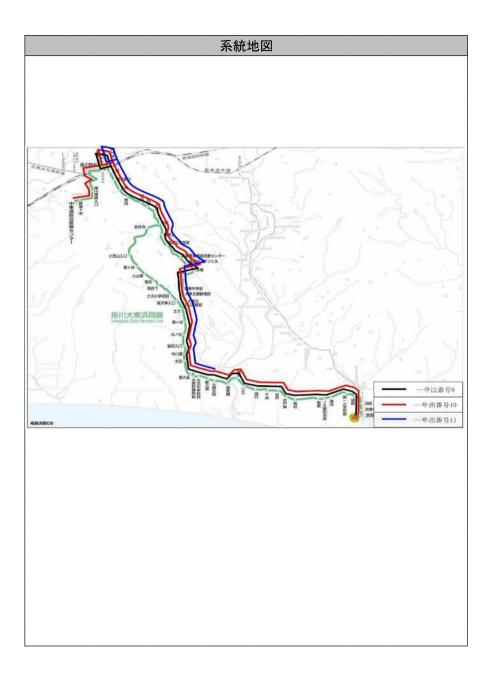
) 年 及 連 行 :			(Δx)	117	作来エレム		
系統名		藤枝相良線		事業者名	し	ストライン			
	起点	経由地	終点						
路線の状況	藤枝駅 南口	静波海岸 入口	相良営業所						
系統キロ程	(km)	26.6	輸送量(人/日)	55.4				
平均乗車密度	(人/便)	4.2	運行回数((回/日)	13.2				
ア <u>公</u>	学校		中学校、相良高校、 学園キラリ高校、清				·校、吉田特別支援学校、		
アクセス 状 (共・拠点 (共・ (共・ (共・ (共・ (共・ (共・ (共・ (共・ (共・ (共・	病院	榛原総合病院							
人状況 大流	商業施設	BiVi藤枝							
,本設 	その他	牧之原市役所相良庁舎、牧之原市役所榛原庁舎、牧之原健康福祉センター、牧之原署、吉田町役場、藤枝消防署南分署、県立武道館、JR藤枝駅							
収支率(%) (収益/費用)	42	2.1	乗車人員	(人)		169,4	1 92		
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 4 バス停 4	名称	名称 拠点:相良本通、藤枝駅南口、静波海岸入口、榛原総合病院 バス停:相良営業所、宗高新町、東名大井川、片岡北吉田特別支援学校						
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利	兄 (%) 用者の割合)	75.9							
増収策	・小学校へ <i>0</i> ・バス乗りだ ・全国IC相互 ・ICカード電 ・バスロケー	時刻に合わせたダイヤ改定の実施 のバス教室の実施 方リーフレットの配布 互利用の導入(2013年3月より) 電子マネー機能搭載 ーションシステムの運用による利便性向上 新設(相良営業所移転に伴う停留所の新設)							
費用削減策	・燃料消費率 ・燃料使用量	- 見合った運行 ≤の改善(デ 量の削減(車両	ジタルタコグ 5搭載燃料を	ラフによる 抑制)		の為の指導	‡)		
沿線市町の サポート	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・市作成のバス路線図に当該路線のバス停を記載 ・市LINE及びホームページに事業者ホームページのリンクを設定 ・欠損額を沿線市町で補助 ・路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事広報誌に掲載 ・バスを利用し、地域の史跡や自然を鑑賞するツアーによる利用促進事業の実施 ・バスを利用し、地域の史跡や自然を鑑賞するツアーによる利用促進事業の実施 ・バスマップ時刻表の配布 ・相良市街地バス停の利便性向上のため、上屋・駐輪場を整備 ・市民主催の路線バス魅力再発見ツアーへの協力 ・職員に対するバス路線利用促進 ・市役所庁舎内にて、路線図や時刻表の配架 ・役場窓口へのバス時刻表の配架 ・役場窓口へのバス時刻表の配架 ・町ホームページから運賃・経路検索ホームページへのリンク ・役場停留所付近に再生可能エネルギーによって発電・蓄電・給電する電源を備えたコテナ型のバス特合所を設置							



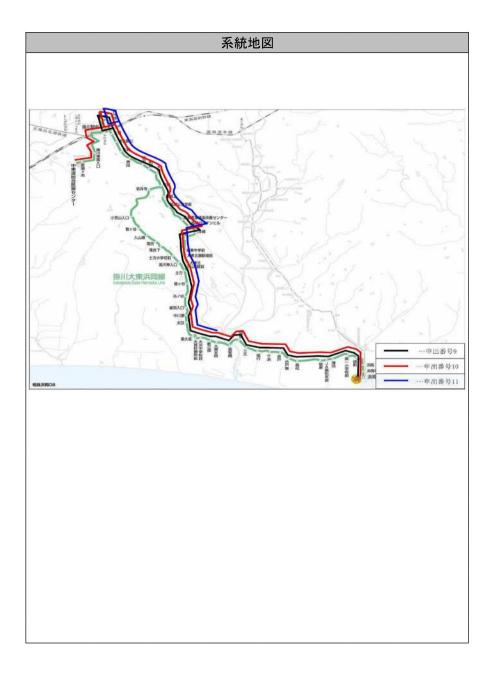
	コートロー) 年吳建打	刀术机划个	川大忠	(公衣ン)	ートノ	1米工(乙		
系統名		菊川浜岡線		事業者名	しず	ずてつジャス	ストライン		
路線の状況	起点 菊川駅前	経由地 菊川市立 総合病院	終点 浜岡 営業所						
系統十口程	(km)	17.5	輸送量(
平均乗車密度	(人/便)	5.0	運行回数(回/日) 7.6						
ア公	学校	常葉大学菊川高校 校、小笠南小学校					笠北小学校、岳洋中学 校、浜岡中学校		
ク共 セ _m	病院	菊川市立総合	合病院、笠南医	€療センター					
アクセス状況公共・拠点施設	商業施設								
	その他		川市役所、菊川文化会館、菊川警察署、小笠図書館、菊川市役所小笠支所、菊川市民合体育館、浜岡総合運動場、御前崎市役所、JR菊川駅						
収支率(%) (収益/費用)	52	2.9	乗車人員(人) 64,345						
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 0	名称	拠点:浜岡営業	ś所、JR菊川駅	門				
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		37.7							
増収策	・ JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・ 小学校へのバス教室の実施 ・ バス乗り方リーフレットの配布 ・ 全国に相互利用の導入(2013年3月より) ・ にカード電子マネー機能搭載 ・ バスロケーションシステムの運用による利便性向上								
費用削減策	 ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善(デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導) ・燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制) ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し 								
沿線市町の サポート	市のホーム性を高めるコミュニラ・事業者と協っ市が携わる	市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進 市のホームページ(コミュニティバスページ)へ事業者のリンクを貼り、時刻等の検索性を高める コミュニティバスの時刻表へ菊川浜岡線の時刻や乗り継ぎ情報等を掲載 事業者と協力し、女性バス運転手による小学生への職業講話を実施 市が携わる職業案内の場において、事業者の運転手募集情報を提供 欠損額を治線市町で補助							



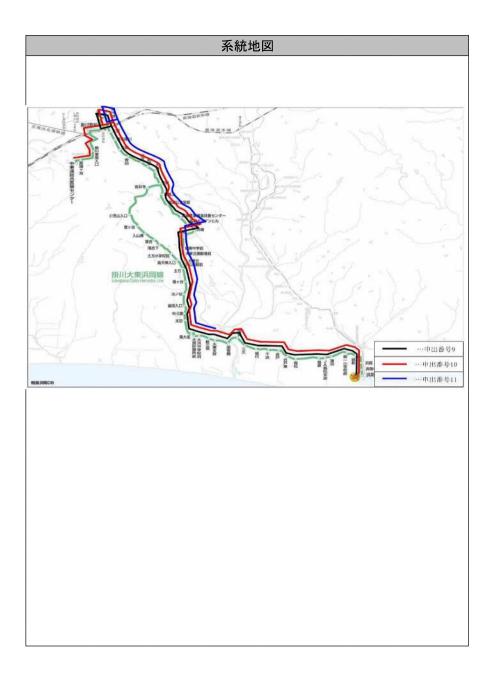
	13.10.0) 牛皮连门,	7 7 1 (1) (1) 33 1 .			- - -			
系統名	挡	計川大東浜岡紀	泉	事業者名	しず	ずてつジャストライン			
DRAM ALINE	起点	経由地	終点						
路線の状況	掛川駅前	井崎	浜岡 営業所						
系統キロ程	(km)	24.1	輸送量(人/日)	24.6				
平均乗車密度	(人/便)	2.9	運行回数((回/日)	8.5				
ア <u>公</u> ア#	学校					P医科大学、城東中学校、大坂小学校、大 調理師家政専門学校			
クサ・セ加	病院	笠南医療セン	ター						
アクセス状況公共・拠点施	商業施設								
	その他		掛川市立中央図書館、掛川税務署、掛川市大東支所、御前崎市役所、JR掛川駅、 浜名湖鉄道掛川駅						
収支率(%) (収益/費用)	32	2.2	乗車人員	(人)		62,720			
乗換可能な アクセス拠点等	拠点3 バス停1	名称	拠点:掛川駅前 バス停:第一小		、大東支所				
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		57.7							
增収策	・小学校への・バス乗りが・全国IC相互・ICカード電	・ JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・ 小学校へのバス教室の実施 ・ バス乗の方リーフレットの配布 ・ 全国IC相互利用の導入(2013年3月より) ・ ICカード電子マネー機能搭載 ・ バスロケーションシステムの運用による利便性向上							
費用削減策	・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善(デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導) ・燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制) ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し								
沿線市町の サポート	・75歳以上 ・市ホーム/ ・中東遠総台 実績:R4	の運転免許証 ページから時 を療センター 年度 407人/	ージや広報紙などを活用し乗車促進 D運転免許証自主返納者への利用助成券交付 一ジから時刻表等パス情報へのリンク 医療センター受診者への復路運賃助成 F度 407人/年 R5年度 257人/上半期 線市町で補助						



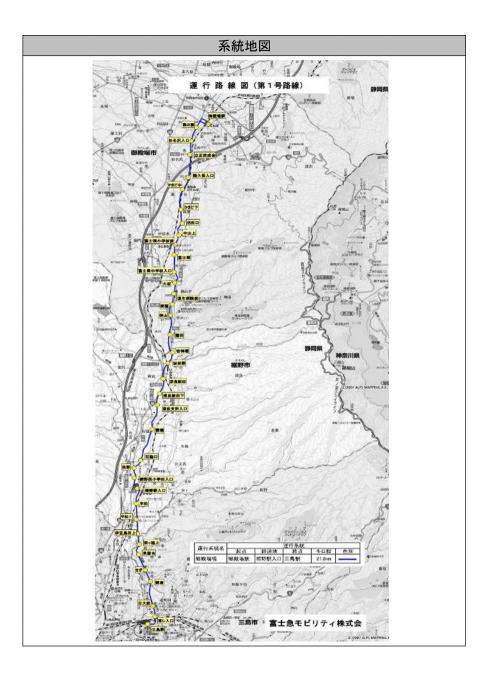
	1740 -) 十 皮连 [] .	分 糸	川大忠	CARD	- ト)			
系統名	挂	別大東浜岡紹	泉	事業者名	し	ずてつジャストライン			
路線の状況	起点 中東遠総合医 療センター	経由地 掛川駅前・ 井崎	終点 浜岡 営業所						
系統キロ程	(km)	27.6		送量(人/日) 37.2					
平均乗車密度	(人/便)	6.0	運行回数(回/日) 6.2						
ア公	学校					小学校、東京女子医科大学、城東中学校、大坂 袁調理師家政専門学校			
アクセス状!	病院	中東遠総合図	医療センター、笠	笠南医療セン	/ター				
スが、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が、大力が、大力	商業施設								
が施 況設 掛川年金事務所、掛川法務合同庁舎、掛川市立中央図書館、掛川税務署、掛川 支所、御前崎市役所、JR掛川駅、天竜浜名湖鉄道掛川駅、									
収支率(%) (収益/費用)	58	.9	乗車人員(人) 88,814						
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 4 バス停 1	名称	拠点:中東連総合医療センター、掛川駅前、浜岡営業所、大東支所 バス停:第一小学校前						
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		68.0							
增収策	・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学校へのバス教室の実施 ・バス乗り方リーフレットの配布 ・全国に相互利用の導入(2013年3月より) ・ICカード電子マネー機能搭載 ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上								
費用削減策	・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善(デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導) ・燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制) ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し								
沿線市町の サポート	・75歳以上 ・市ホーム^ ・中東遠総合 実績:R4	5ホームページや広報紙などを活用し乗車促進 5歳以上の運転免許証自主返納者への利用助成券交付 5ホームページから時刻表等バス情報へのリンク 東遠総合医療センター受診者への復路運賃助成 8績: R4年度 407人/年 R5年度 257人/上半期 2損額を沿線市町で補助							



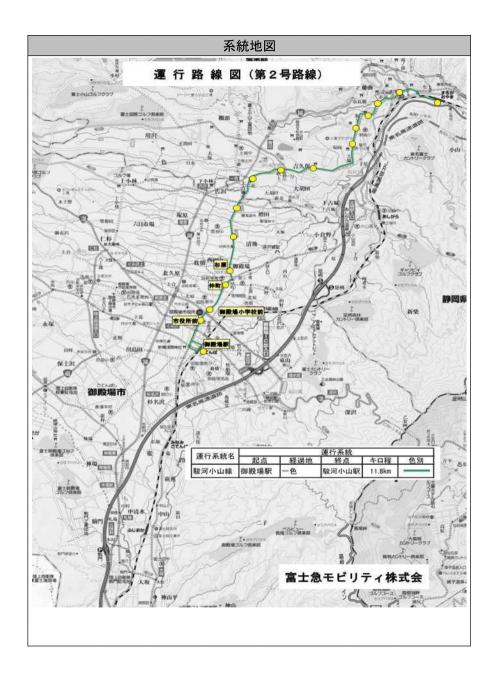
	טיינו –) 年及建行	יוי הרניז מונאוב רצ			- P)			
系統名	挡		泉	事業者名	し	ずてつジャストライン			
双伯亦此口	起点	経由地	終点						
路線の状況	掛川駅前	井崎	大東支所						
系統キロ程	(km)	15.5	輸送量((人/目) 31.9					
平均乗車密度	(人/便)	3.9	運行回数(回/日) 8.2						
ア <u>公</u>	学校		校、掛川第一小学校、上内田小学校、佐東小学校、東京女子医科大学、城東 反小学校、大浜中学校						
アクセス状1 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	病院								
ス拠状施	商業施設								
	その他	掛川市立中央 駅	i立中央図書館、掛川税務署、掛川市大東支所、JR掛川駅、天竜浜名湖鉄道掛川						
収支率(%) (収益/費用)	45	5.7	乗車人員	(人)		46,411			
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 0	名称	拠点:掛川駅前	〕、大東支所					
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利	兄 (%) J用者の割合)	82.1							
增収策	・小学校への・バス乗りが・全国IC相互・ICカード電	型行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 込へのバス教室の実施 態り方リーフレットの配布 ・相互利用の導入(2013年3月より) ・ド電子マネー機能搭載 ロケーションシステムの運用による利便性向上							
費用削減策	利用実態に燃料消費率燃料使用量	エコドライブの徹底 利用実態に見合った運行便数への改善 燃料消費率の改善(デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導) 燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制) 車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し							
沿線市町の サポート	・75歳以上 ・市ホーム/ ・中東遠総合 実績:R4	の運転免許証 ページから時刻 医療センタ-	- ジや広報紙などを活用し乗車促進 運転免評証自主返納者への利用助成券交付 - ジから時刻表等バス情報へのリンク 医療センター受診者への復路運賃助成 度 407人/年 R5年度 257人/上半期 泉市町で補助						



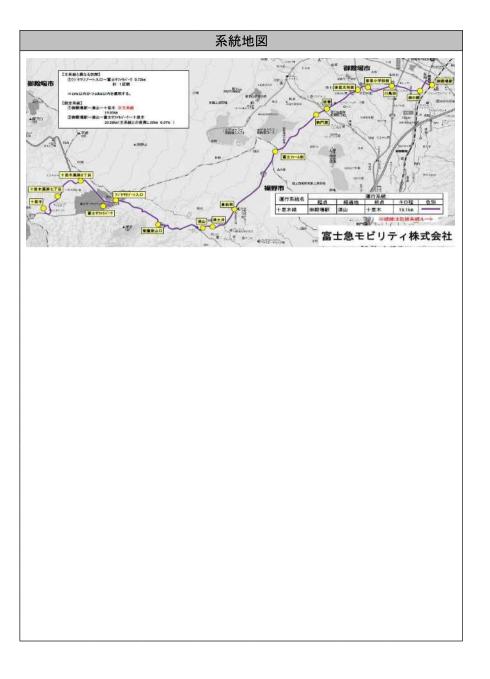
77.4±12		/T/又在1J/				ウェクテレルニ ・		
系統名 		御殿場線		事業者名		富士急モビリティ		
収値の出い	起点	経由地	終点					
路線の状況 	御殿場駅	裾野駅 入口	三島駅					
系統キロ程	(km)	21.8	輸送量(人/日)	30,0			
平均乗車密度	(人/便)	6.0	運行回数	(回/日)	5.0			
ア <u>ン</u> 公	学校	日本大学、日 小学校、神山				中学校、徳倉小学校、裾野西校		
アクセスが	病院	大橋医院、神	山復生病院					
	商業施設	ベルシティ、時						
次施 況設 	その他	裾野市役所、 東日本、トヨタ				i广舎、矢崎部品、ト3タ自動車		
収支率(%) (収益/費用)	71	.6	59,375					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 3 バス停 8	名称	拠点:JR三島駅、 バス停:東レ入口 ど中、森の腰			1、裾野市民文化センター、復生病院前、かま		
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利	兄(%) 用者の割合)	57.0						
増収策	・富士山南麗 イ・バス時刻刻 ・町広報誌やS ウ・車内ドラーム プロパイダー	割引(セット券)の販売及び季節路線の運行 士山南麓エリア周遊きっぷ等の販売 等 地域との連携や自社スケールを活用してのセールス展開 ス時刻表・乗り方案内のツールの全戸配布、小学生向けバス乗り方教室を実施、市・ 報誌やSNSで発信を依頼 利用者に配慮した取り組み 内ドライブレコーダー活用した接遇・事故の振返りを実施、バスロケーションシステ 導入し、混雑状況や遅延状況をリアルイムに配信、GTFSデータを複数のコンテンツ パイダーへ提供、多言語化による情報配信、クレカによる精算を実施 イベント等への積極参加・団体等へのセールス・PR活動						
費用削減策	ア. 燃料、オイルその他修繕部品等、富士急グループ全体での一括仕入れ イ. アイドリングストップ強化月間の実施や幹部職員による点呼など、乗務員・職員 への声掛け、指導運転士街頭指導による注意喚起 ウ. ドライブレコーダ (H25年度内で全車搭載済み)を活用し修理費等の削減 エ. 効率的な運行を実施し、無駄な走行を減らすことで経費削減 オ. デジタル定期券を導入し、対人窓口の営業時間を短縮しつつも24時間定期券が購入 できる環境を構築。 カ. 電気を動力源とするEVバスを導入し、動力費の削減を行った。							
沿線市町の サポート	・運転発施通 E を ・運転共共島損 E を ・ 変 を ・ 変 を ・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	高齢者へのバス等助成券の交付 連転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布 公共施設での時刻表の配架 公共交通マップの配布 三島駅南口でのデジタルサイネージの運用 欠損額の一部を補助 市HPIC路線バス時刻表のリンクを掲載。 治線の小中学校、幼稚園、保育園にバス利用を呼び掛け 公共交通にちなんだイベントを実施 支線系統等の地域内交通ネットワークの新設・再編等を検討する場合において、幹線系統への乗り継ぎ・連携を考慮して検討を行う。						



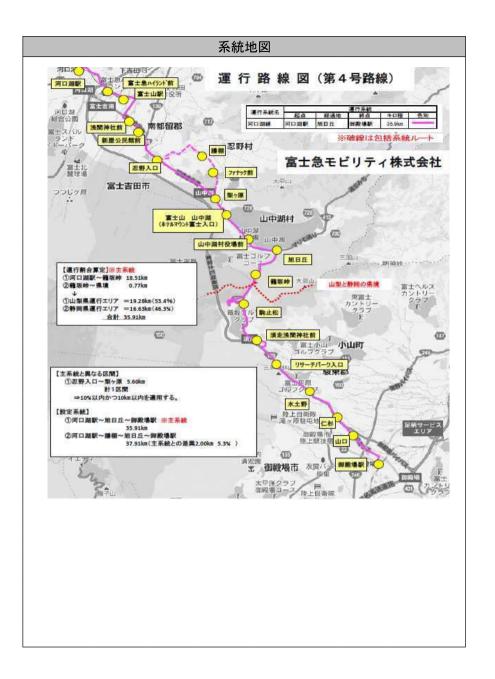
	TJ AU C) 年 及 建 打	ノポがかれ	加大思	(五衣グ	- ト) 1 * 代2					
系統名		駿河小山線		事業者名		富士急モビリティ					
吸給の出の	起点	経由地	終点								
路線の状況	御殿場駅	一色	駿河小山駅								
系統キロ程	(km)	11.8	輸送量(人/日)	人/日) 31.8						
平均乗車密度	(人/便)	3.7	運行回数	女 (回/日) 8.6							
ア公	学校	御殿場小学校 校	交·御殿場中学	校、御殿場	高校、高根	小学校・高根中学校、明倫小学					
アクセス状況公共・拠点施設	病院	救急医療センター									
ス処状態	スペー 内ックドラック、マミー、セルバ、道の駅ふじおやま、コメリ、丸善食品										
	その他	郵便局(5件)、御殿場市役所、小山町役場、小山町消防署、コミュニティセンター、 御殿場保健センター、小山町ふじみセンター									
収支率(%) (収益/費用)	53	3.4	乗車人員			62,400					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 7	名称	拠点: JR御殿場 バス停:湯沢、上で に指定			.8の停留所が小山町デマンドバス乗降ポイント					
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		67.3									
増収策	・富士山南麓インは、田南龍石・バス時刻をのです。 利用 はいる がった 利用 にいる 利用 にいる 利用 にいる できない かった	NSで発信を に配慮した取り イブレコーダー 混雑状況やり - へ提供、多額	きっぷ等の歌等の スケーツール 内の頼 が頼み 日 日 日 日 三 証 は に を は り に た り に り に り り に り に り に り に り に り に	売 等のも ま ま ま で で で で の で の で の の の の の の の の の の の の の	:ールス展開 小学生向け 振返りを実 配信、GTF クレカによ	バス乗り方教室を実施、市・ は施、バスロケーションシステ FSデータを複数のコンテンツ る精算を実施					
費用削減策	イ. アイドリカイ アイの声が ウ. バラマのアイン ウ. 対率的な オ. デジタル できる環境を	イベント等への積極参加・団体等へのセールス・PR活動 燃料、オイルその他修繕部品等、富士急グループ全体での一括仕入れ アイドリングストップ強化月間の実施や幹部職員による点呼など、乗務員・職員 への声掛け、指導運転士街頭指導による注意喚起 ドライブレコーダ(H25年度内で全車搭載済み)を活用し修理費等の削減 効率的な運行を実施し、無駄な走行を減らすことで経費削減 対率的な運行を実施し、無駄な立にを減らすことで経費削減 デジタル定期券を導入し、対人窓口の営業時間を短縮しつつも24時間定期券が購入 る環境を構築。 電気を動力源とするEVバスを導入し、動力費の削減を行った。									
沿線市町の サポート	公共交通に支線系統等	P学校、幼稚() こちなんだイ/ 等の地域内交込 迷ぎ・連携を引	ベントを実施 通ネットワー	クの新設・		討する場合において、幹線系					



	13/10/0) 十 皮	יין הרניז מוי צו ל רל			1 /	17-42				
系統名		十里木線		事業者名		富士急モヒ	ビリティ				
成金のほど	起点	経由地	終点								
路線の状況	御殿場駅	須山	十里木			_					
系統キロ程	(km)	19.0	輸送量(人/日)	25.4						
平均乗車密度	(人/便)	3.8	3.8 運行回数(回/日) 6.7								
ア <u>公</u> ア#	学校	原里小学校・原里中学校、須山小学校									
アクセス状況公共・拠点施設	病院	フジ虎ノ門病院、東部病院、渡辺整形外科									
スが点が	商業施設	クラボウ、ビオノ	パーク、JAなんす	まん							
70施 況設	その他	原里支所、板妻駐屯地、須山支所、裾野富士山資料館、富士裾野工業団地、東 毎ゴム、須山浅間神社、富士サファリパーク、十里木別荘地、愛鷹山登山口									
収支率(%) (収益/費用)	47	. .6	乗車人員(人) 46,806								
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停 6	名称	拠点:JR御殿場馬 バス停:森の腰、オ		」、富士サファリバ・	ク、原里支所					
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		33.8	33.8								
增収策	・富士山南麗イ. 地域との ・バス時刻刻 ・町広報誌やS ウ・車内ドラームを導入し、 プロパイダー	NSで発信を こ配慮した取り イブレコーダー 混雑状況やり -へ提供、多額	きっぷ等の販えケールを活力のツールの 対のツールの 依頼 つ活用した接 呈延状況をリ 言語化による	売 等 し で の で で の で の で の あ い で の あ い で の あ い の の の の の の の の の の の の の の の の の	ールス展開 小学生向け 振返りを実 配信、GTF クレカによ	バス乗りた 施、バスロ Sデータを る精算を実	対室を実施、市・ ロケーションシステ 複数のコンテンツ 施				
費用削減策	エ、イベント等への積極参加・団体等へのセールス・PR活動 ア・燃料、オイルその他修繕部品等、富士急グループ全体での一括仕入れ イ・アイドリングストップ強化月間の実施や幹部職員による点呼など、乗務員・職員 への声掛け、指導運転士街頭指導による注意喚起 ウ・ドライブレコーダ(H25年度内で全車搭載済み)を活用し修理費等の削減 エ・効率的な運行を実施し、無駄な走行を減らすことで経費削減 オ・デシタル定期券を導入し、対人窓口の営業時間を短縮しつつも24時間定期券が購入 できる環境を構築。 カ・電気を動力源とするEVバスを導入し、動力費の削減を行った。										
沿線市町の サポート	・高齢者へ/ ・運転免許自 ・沿線の小中 ・公共交通に ・支線系統等	カ. 電気を動力源とするEVバスを導入し、動力費の削減を行った。 ・市HPに路線バス時刻表のリンクを掲載 ・高齢者ハバス・タクシー利用助成券を交付。 ・運転免許自主返納者ヘバス・タクシー利用助成券を交付。 ・治線の小中学校、幼稚園、保育園にバス利用を呼び掛け ・公共交通にちなんだイベントを実施 ・支線系統等の地域内交通ネットワークの新設・再編等を検討する場合において、幹線系統への乗り継ぎ・連携を考慮して検討を行う。									



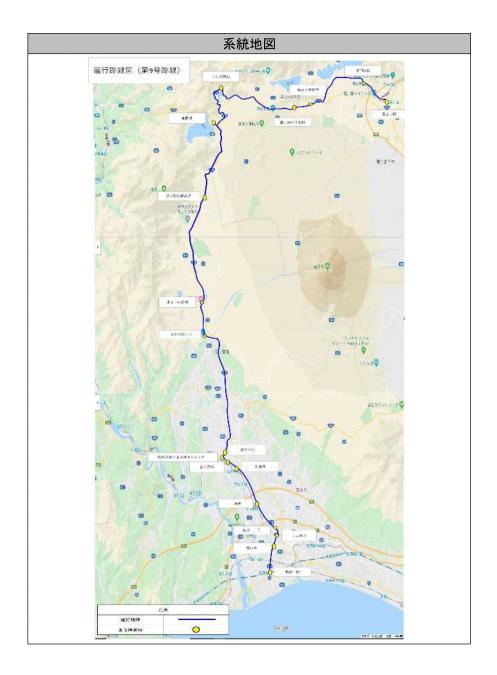
	13.100	一大区E1J.	2 7 1 C C (10 (1) 7 C)			- · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
系統名		河口湖線		事業者名		富士急モビリティ				
DRAG a UND	起点	経由地	終点							
路線の状況	河口湖	旭日丘	御殿場駅							
系統十口程	(km)	36.9	輸送量((人/日) 23.1						
平均乗車密度	(人/便)	7.7	運行回数(回数 (回/日) 3.0						
ア公	学校		文、須走小学校 養専門学校、E			小学校、山中湖中学校、富士				
クサ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ	病院	富士吉田市立	Z病院、渡辺整	೬形外科						
アクセス状況公共・拠点施設	商業施設		リンディスティラ!]、都留信用組		デンキ、JA須汞	も、道の駅すばしり、ファナック、道				
况設	その他	御殿場市立図書館、御駅 天恵、森の駅旭日丘、文	図書館、御殿場市民会館、須走支所、山中場村役場、山中湖野便局、自衛隊北富士駐屯地、上古田コミュニティセンター、須走浅餅神2 78日丘、文学の森公園、忍野八海、さかな公園、忍野温泉、北口本宮富士浅間神社、富士急ノイランド							
収支率(%) (収益/費用)	79	.7	乗車人員(人) 51,429							
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 3 バス停11	名称	拠点: JR御殿場駅、富士急行富士山駅、富士急行河口湖駅 /(ス停:湯沢、ぐみ沢、図書館前、須走浅間神社、山中湖旭日丘、山中湖村役場前、富士L 中湖、忍野入口、セク草、横町、警察署前							
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		76.8	1 個の 心切 八七十 ピアキュア・コーランド							
増収策	・富士山南麗イ. 地域との ・バス時刻刻 ・町広報誌やS ウ・車内ドラームを導入し、 プロパイダー	(セット券)の販売及び季節路線の運行 南麓エリア周遊きっぶ等の販売 等 との連携や自社スケールを活用してのセールス展開 刻表・乗り方案内のツールの全戸配布、小学生向けバス乗り方教室を実施、市・ ゆSNSで発信を依頼 者に配慮した取り組み ライブレコーダー活用した接遇・事故の振返りを実施、バスロケーションシステ し、混雑状況や遅延状況をリアルイムに配信、GTFSデータを複数のコンテンツ ダーンによる情報配信、クレカによる精算を実施 ント等への積極参加・団体等へのセールス・PR活動								
費用削減策	イ. アイドリアへのライン アヘのライン 対率的な フェー・フェー・ファック ファック ファック できる 環境を	イベント等への積極参加・団体等へのセールス・PR活動 燃料、オイルその他修繕部品等、富士急グループ全体での一括仕入れ アイドリングストップ強化月間の実施や幹部職員による点呼など、乗務員・職員 への声掛け、指導運転土街頭指導による注意喚起 ドライブレコーダ(H25年度内で全車搭載済み)を活用し修理費等の削減 効率的な運行を実施し、無駄な走行を減らすことで経費削減 デジタル定期券を導入し、対人窓口の営業時間を短縮しつつも24時間定期券が購入 そる環境を構築。 電気を動力源とするEVバスを導入し、動力費の削減を行った。								
沿線市町の サボート	・公共交通に・支線系統等	ロ学校、幼稚園、保育園にバス利用を呼び掛け ちなんだイベントを実施 の地域内交通ネットワークの新設・再編等を検討する場合において、幹線系 まぎ・連携を考慮して検討を行う。								



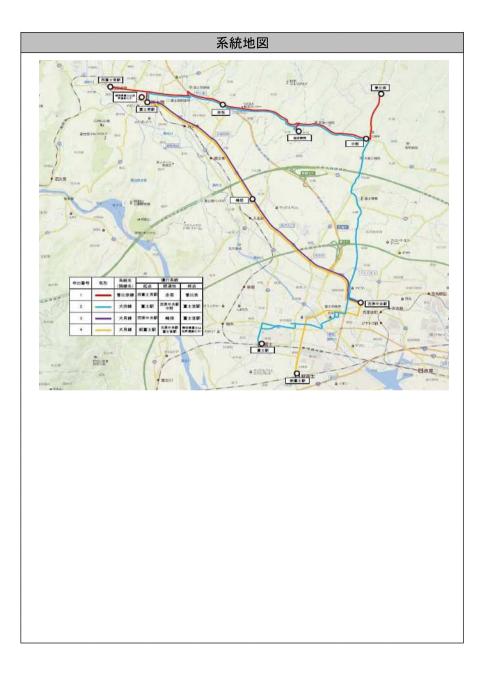
系統名	15-10-0	河口湖線	- 1.6C(f) 6th 1.4 C	事業者名		富士急バス				
אואאר	却占	経由地	47上	7860						
路線の状況	起点 河口湖駅	膳棚 旭日丘	終点 御殿場駅							
系統十口程	(km)	37.9	輸送量(人/日)	73.2					
平均乗車密度	(人/便)	7.4	運行回数	(回/日)	9.9					
ア公	学校		交、須走小学校 養専門学校、E			小学校、山中湖中学校、 旅富士学校	富士			
クサ・セル	病院	富士吉田市立	z病院、渡辺s	೬形外科						
アクセス状況公共・拠点施設	商業施設		リンディスティラ 1、都留信用組		「ンキ、JA須∄	と、道の駅すばしり、ファナッ	ク、道			
况設	その他	御殿場市立図書館、御 森の駅旭日丘、文学の森	吸場市民会館、須走支所 公園、忍野八海、さかな2	、山中湖村役場、山中 公園、忍野温泉、北口	P湖郵便局、自衛隊北 本宮富士浅間神社、電	富士駐屯地、上吉田コミュニティセンター、須走: 富士急ハイランド	悲間神社、			
収支率(%) (収益/費用)	74	·.9	乗車人員	(人)		230,566				
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 3 バス停11	名称	拠点: JR御殿場馬 バス停:湯沢、ぐみ 中湖、忍野入口、	≯沢、図書館前、	須走浅間神社、L	河口湖駅 山中湖旭日丘、山中湖村役場前、1	富士山山			
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		90.3								
増収策	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	環境の改善による利用促進 比率を高める、地域別バスマップの作製、バスロケーションシステムを利用した利便								
費用削減策	(2) 引き続 (3) 引い (3) を行う を行う (4) エー (5) 車 (6) 車 (7) EVバン	の効率化(経費削減)を図るため、不採算運行の再編、減便等の検討。 続き、グループのスケールメリットを活かした一括購入による仕入価格の減少や ライブを推進し、経費削減を図っていく。 燃料・オイル・タイヤの仕入れ価格について、引き続き本社部門での定期的見直し。。 購入や比較的金額が多い備品類等についても比較購入を実施し、固定経費を削減 ドライブ推進(アイドリングストップ運動)により、軽油の使用量削減と環境保全 の計画的更新による燃料効率の向上と、修繕費の削減に努める。 ドスでの運行を行うことで燃料使用量を削減する。 ビングバス等付帯収入の確保により、収支改善を図る。								
沿線市町の サポート	・公共交通に対象系のサースを表のルバースを表のルバースを表のいて、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは	中学校、幼稚町 こちなんだイ/ 手の地域内交込 継ぎ・連携を ディバスマップ SNS、ホーム 新と連携し、(ベントを実施 ・ ネットワー ・ 島慮して検討 ・ 貴助成 ・ プに路線バス ページを活用	クの新設・ を行う。 の情報を掲 Jした情報系	再編等を検載し、全世	討する場合において、 帯への配布	幹線系			



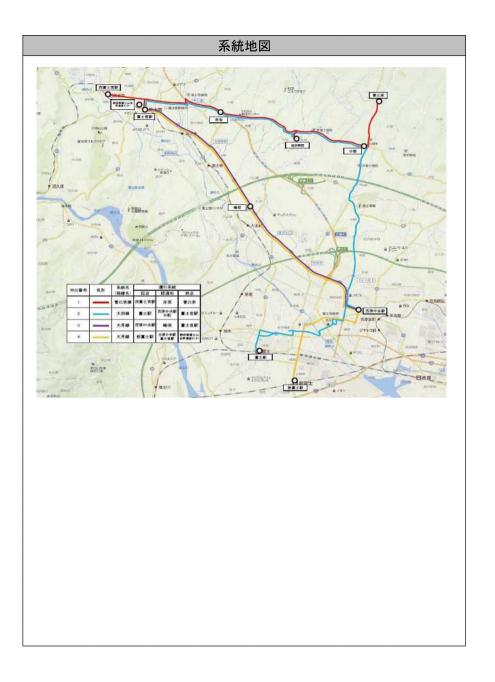
	ラ	5年度運行	分糸統別和	」用実態	(公表シー						
系統名		新富士線		事業者名		富士急バス					
ph/sh = 1 No	起点	経由地	終点								
路線の状況	富士山駅	精進湖 富士宮駅	新富士駅								
系統キロ程	(km)	72.4	輸送量(人/日)	17.1						
平均乗車密度	(人/便)	5.9	運行回数	数 (回/日) 2.9							
ア <u>公</u>	学校					、富士北稜高等学校、吉田西小学校、 嵐小学校、鳴沢小学校					
	病院	富士宮市立病	富士宮市立病院、富士市立中央病院								
・拠点施	商業施設		道の駅朝霧高原、イオンモール富士宮、ASTY新富士、富士山駅Q-STA、道の駅 きわ、森の駅風穴								
况施 況設	その他	朝霧高原もちや、白糸の 本栖湖リゾート、鳴沢村名				宮町郵便局、富士急ハイランド、本栖湖観光案内所、富士 易郵便局					
収支率(%) (収益/費用)	51	.2	乗車人員(人) 53,208								
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 4 バス停 9	名称				明駅、富士急行富士山駅 、口、本栖湖、風穴、勝山、剣丸尾、松山					
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		76.3									
増収策	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	よる地域施設のプロバイダや観ルメリットを対学校施設・旅行場の改善による率を高める、対	ス乗り画(かかな 本の 大の 大の の紹介 り り り の紹介 い り り り の の が い と は し と は は は は は は は は は は	宝実施 ・学生個展 ・に参画 でも新聞など 、 EVバス ・プの作製、 関係施設と	を利用したSI バスロケー:	DGsの取り組みを伝えて、バス ションシステムを利用した利便					
費用削減策	(2) (3) 引ン軽行車コー (4) (4) (5) (5) EVバン)運行の効率化(経費削減)を図るため、不採算運行の再編、減便等の検討。 2) 引き続き、グループのスケールメリットを活かした一括購入による仕入価格の減少や エコドライブを推進し、経費削減を図っていく。 3) 軽油燃料・オイル・タイヤの仕入れ価格について、引き続き本社部門での定期的見直し を行う。 4) 車両購入や比較的金額が多い備品類等についても比較購入を実施し、固定経費を削減 5) エコドライブ推進(アイドリングストップ運動)により、軽油の使用量削減と環境保全 5) 車両の計画的更新による燃料効率の向上と、修繕費の削減に努める。 7) E/バスでの運行を行うことで燃料使用量を削減する。 8) ラッピングバス等付帯収入の確保により、収支改善を図る。									
沿線市町の サポート		バスなび」の間		湖方面への	観光と連携	した取り組みを実施					



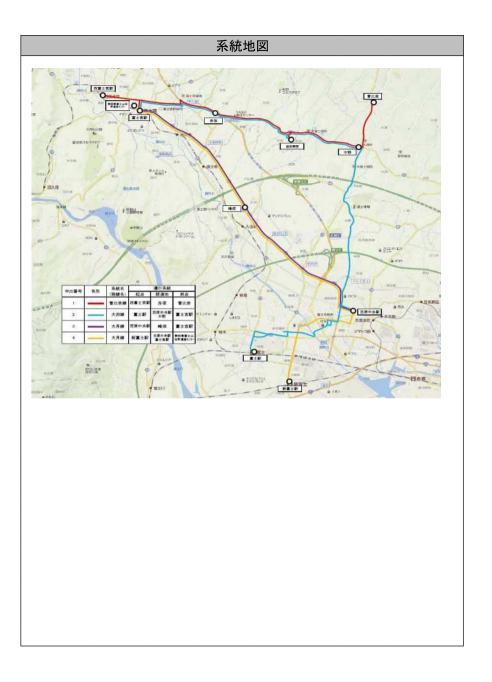
	15 75 5	一个区压13.	271117073311	371377131		1 /					
系統名		曽比奈線		事業者名		富士急静	蜀バス				
成金のほど	起点	経由地	終点								
路線の状況	西富士宮駅	赤坂	曽比奈								
系統キロ程	(km)	11.5	輸送量(人/日)	16.1						
平均乗車密度	(人/便)	3.3	運行回数		4.9						
ア <u>ン</u> 公	学校	大渕第一小学 学校、富士特		≠校、富士宮 	東高校、富	士宮第一中	学校、富士宮東小				
	病院	新富士病院、	富士脳研病院	t							
クセス状況の地点施設	商業施設										
光 設	その他	JR西富士宮	宮駅・富士宮駅	5							
収支率(%) (収益/費用)	60	0.3	乗車人員	(人)		35,49	91				
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 4	名称	拠点: JR西語 バス停: 十字			1、中野					
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		82.2									
増収策	2)市内の公 3)中日専門 4)富士・ 5)免許返納 高齢者定期 6)富士市 8 7)利用者向	学校への乗合バス乗り方教室、校外学習での増発バスの実施。 市内の公共交通一日乗車券等、企画乗車券を発行 平日専用学生「ウィークデイ定期券」について、PR実施 富士・富士宮市内の既存路線を一部見直し(富士駅への直通ダイヤの設定等) 免許返納者への支援事業(富士・富士宮市)と連携し回数乗車券の利用および 齢者定期購入費補助の実施 富士市とタイアップし公共交通の利用促進を目的としたバスツアーの実施。 利用者向け支援事業「富士市公共交通利用促進事業(ICカード購入補助、高齢者定期 購入補助、共通回数券購入補助)」と連携し安心・安全を広報									
費用削減策	削減を行い 2) エコドラ 削減と環境	主対 対									
沿線市町の サボート	「バスのE乗継割引き「富士市/	案内の配架 もの祭での路線バス利用促進 スの日イベント」等のイベントの実施 割引券・市内共通回数券の運用 士市バスなび」の配布 主運行路線との接続による相乗効果を図る									



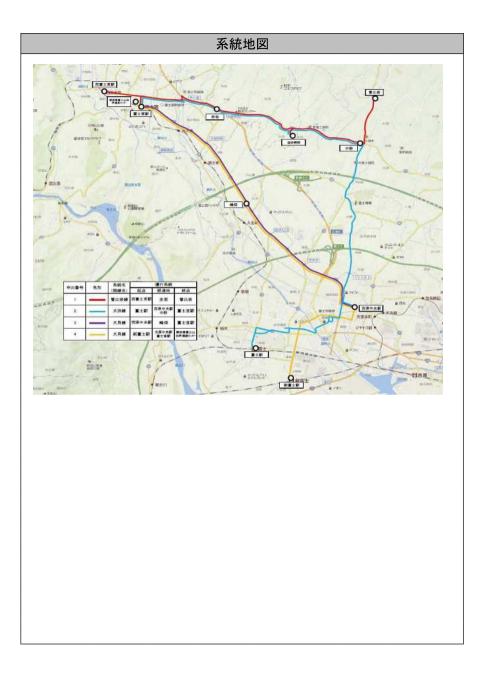
	TJYUC) 年 及 建 打	ノボがにいれ		(AA)	- 1·)	18162				
系統名		大渕線		事業者名		富士急静岡	岡バス				
	起点	経由地	終点								
路線の状況	富士駅	吉原中央駅 中野	富士宮駅			1					
系統キロ程	(km)	19.9	輸送量(人/日)	16.7						
平均乗車密度	(人/便)	5.4		運行回数(回/日) 3.1							
ア <u>公</u>	学校		校、大渕中学校 、富士第一小学			第一中学校、	富士宮東小学校、吉				
クキ セ _m	病院	新富士病院、	大富士病院、	富士脳研療	院、富士中:	央病院					
アクセス状況公共・拠点施設	商業施設										
沉設	その他	JR富士宮縣	R·吉原中央駅	、富士市役	所、富士総合	今庁舎					
収支率(%) (収益/費用)	79).3	乗車人員	(人)		30,08	34				
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 3 バス停 4	名称	拠点:JR富士 バス停:昭和道								
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利	元 (%) 用者の割合)	43.5									
増収策	2) 市内の公 3) 平日専用 4) 富士・富 5) 免許返納 高齢者定其 6) 富士市と 7) 利用者向	の乗合バス乗り は共交通 門学生「中の長い 関連を 対 関連 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	乗車券等、企 ークデイ定期 円存路富士・ の会員 の公当で の で で で で で で で で で で で で で で の で で で の で で の で り で り	画乗車券を 券」に 記 等 見 官 で し し し し し し し し し し し し し し し し し し	発行 て、PR実施 富士駅への と連携し回 目的とした 進事業(IC	他 順直通ダイヤ 数乗車券の バスツアー カート [*] 購入補	利用および				
費用削減策	削減を行い 2) エコドラ 削減と環境)軽油燃料・オイル・タイヤ等をグループのスケールメリットを活かしたコスト 削減を行い、稼働経費の低減化を促進。) エコドライブの推進(アイドリングストップ運動等)により、軽油燃料の使用量 削減と環境保全に努めた。) 車両の計画的更新による燃費効率の向上と、修繕費の削減。									
沿線市町の サボート	「バスのE乗継割引送「富士市/	図内の配架 5の祭での路線バス利用促進 スの日イベント」等のイベントの実施 引引券・市内共通回数券の運用 二市バスなび」の配布 に運行路線との接続による相乗効果を図る									



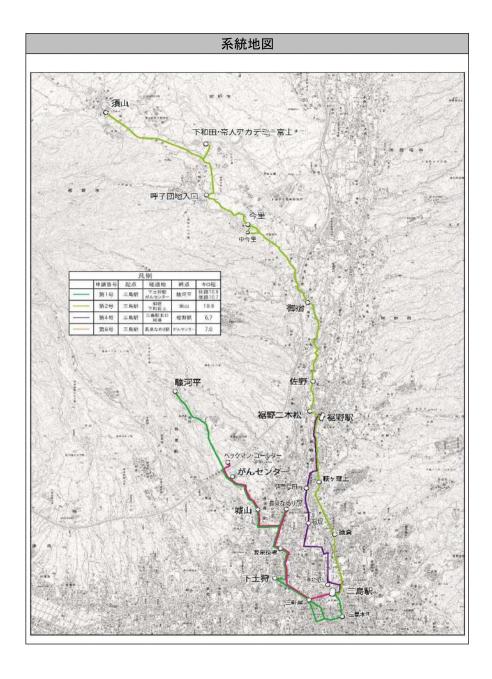
	טיינו כ) 牛皮连门,	יין הרניו מוו אול רל	1,11		- 17					
系統名		大月線		事業者名		富士急静岡バス					
	起点	経由地	終点								
路線の状況	吉原中央駅	峰畑	富士宮駅								
系統丰口程	(km)	9.5	輸送量(人/日)	3) 85.1						
平均乗車密度	(人/便)	4.3	運行回数((回/日)	19.8						
ア公	学校	富岳館高校、 中学校	富士宮東高校	2、鷹岡中学	校、鷹岡小	学校、伝法小学校、吉原第一					
ク. セ.m	病院	富士宮市立病	富士宮市立病院								
アクセス状況	商業施設	イオン富士宮原	吉、ドン・キホー	テユニー富士	吉原店						
况施 況設	その他	富士宮市役別	P.F.								
収支率(%) (収益/費用)	80).O	乗車人員	(人)		117,172					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 3 バス停 4	名称	拠点:JR富士宮 バス停:富士宮			和通り					
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		57.7									
増収策	2) 市内の公 3) 平日専用 4) 富士・記 5) 免許返組 高) 富士市と 6) 利用者向	M者への支援 別購入費補助の ニタイアップし	乗車券等、企 ークデイ定期 円存路富士・ の実施 ン公二 「富士市公共	画乗車券を 券引見室 記書 用に直市 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	発行 で、PR実施 富士駅への と連携し回 目的とした 進事業(IC	を 値通ダイヤの設定等) 数乗車券の利用および パスツアーの実施。 切っト 購入補助、高齢者定期					
費用削減策	削減を行い 2) エコドラ 削減と環境	1)軽油燃料・オイル・タイヤ等をグループのスケールメリットを活かしたコスト 削減を行い、稼働経費の低減化を促進。 2)エコドライブの推進(アイドリングストップ運動等)により、軽油燃料の使用量 削減と環境保全に努めた。 3)車両の計画的更新による燃費効率の向上と、修繕費の削減。									
沿線市町の サポート	のりもの祭「バスのE乗継割引券「富士市/	路線案内の配架 のりもの祭での路線バス利用促進 「バスの日イベント」等のイベントの実施 乗継割引券・市内共通回数券の運用 「富士市バスなび」の配布 市自主運行路線との接続による相乗効果を図る									



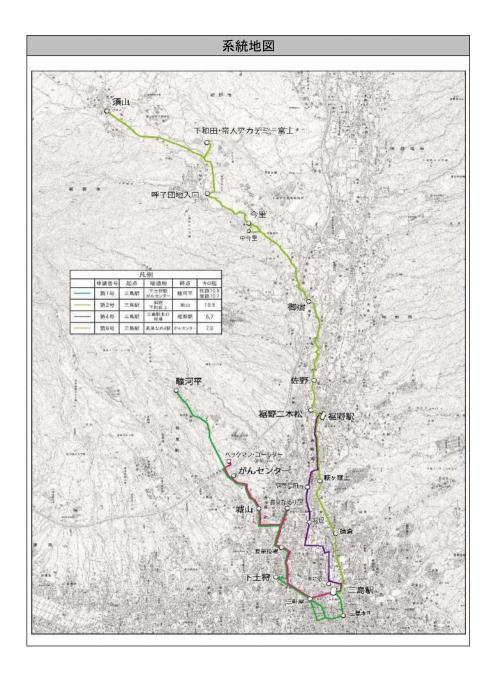
		一块连门		1		1 /						
系統名		大月線		事業者名		富士急静	岡バス					
	起点	経由地	終点									
路線の状況	新富士駅	吉原中央駅 富士宮駅	静岡県富士山 世界遺産センター									
系統十口程	(km)	14.1	輸送量(前送量(人/日) 17.4								
平均乗車密度	(人/便)	5.8	運行回数(運行回数(回/日) 3.0								
ア <u>公</u> ア#	学校	富岳館高校、富士宮東高校、鷹岡中学校、鷹岡小学校、伝法小学校、中学校				小学校、吉原第一						
ク・セ物	病院	富士宮市立病院										
アクセス状況	商業施設	イオン富士宮バ	吉、ドン・キホー	テユニー富士	吉原店							
况 設	その他	富士宮市役所	fi									
収支率(%) (収益/費用)	93	3.1	乗車人員	(人)		17,95	58					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 4 バス停 4	名称	拠点:JR富士宮 バス停:富士宮									
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		54.7										
増収策	2)市内の公 3)中日専門 4)富士・ 5)免許返納 高齢者定期 6)富士市 8 7)利用者向	の乗合バス乗り方教室、校外学習での増発バスの実施。 の公共交通一日乗車券等、企画乗車券を発行 採門学生「ウィークデイ定期券」について、PR実施 富士宮市内の既存路線を一部見直し(富士駅への直通ダイヤの設定等) 認納者への支援事業(富士・富士宮市)と連携し回数乗車券の利用および 期購入費補助の実施 5とタイアップし公共交通の利用促進を目的としたバスツアーの実施。 (向け支援事業「富士市公共交通利用促進事業(にカード)購入補助、高齢者定期 は助、共通回数券購入補助)」と連携し安心・安全を広報										
費用削減策	削減を行い 2) エコドラ 削減と環境	1) 軽油燃料・オイル・タイヤ等をグループのスケールメリットを活かしたコスト 削減を行い、稼働経費の低減化を促進。 2) エコドライブの推進(アイドリングストップ運動等)により、軽油燃料の使用量 削減と環境保全に努めた。 3) 車両の計画的更新による燃費効率の向上と、修繕費の削減。										
沿線市町の サボート	のりもの祭「バスのE乗継割引券「富士市/	 路線案内の配架 のりもの祭での路線バス利用促進 「バスの日イベント」等のイベントの実施 乗継割引券・市内共通回数券の運用 「富士市バスなび」の配布 市自主運行路線との接続による相乗効果を図る 										



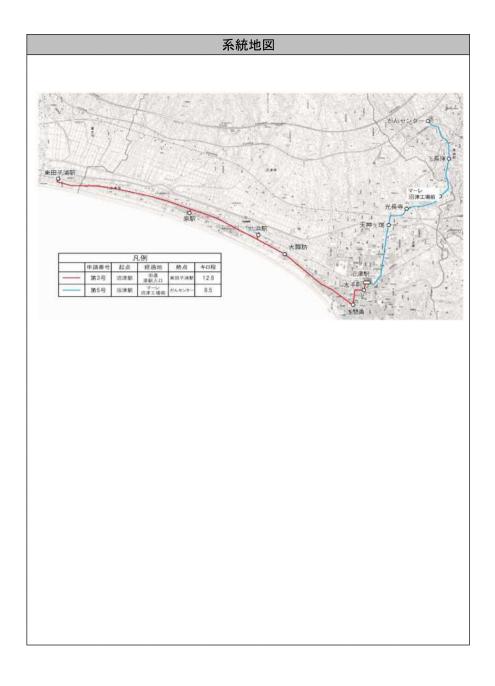
	טיינו –) 十 皮连 [] .	יין הרנים מוו או אררי		(<u>1</u> 1()	1 /	14762				
系統名		駿河平線		事業者名		富士急シ	ティバス				
PR/A A INC	起点	経由地	終点								
路線の状況	三島駅	長泉なめり駅 がんセンター	駿河平			ı					
系統十口程	(km)	12.3	輸送量((人/目) 45.9							
平均乗車密度	(人/便)	5.6	運行回数(数 (回/日) 8.2							
ア <u>ン</u> 公	学校	長泉北小学校	校、長泉小学校、長泉中学校								
ク・セー	病院	県立がんセンタ	7—								
アクセス状況 公共・拠点施設	商業施設						ックマンコールター				
京	その他		守駅、伊豆箱根鉄道三島広小路駅、長泉町役場、長泉健康公園、三島市 長泉町文化会館、ファルマバレーセンター								
収支率(%) (収益/費用)	77	7.7	乗車人員	(人)		82,9	157				
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 4 バス停 3	名称	拠点:JR下土約 バス停:三島本)駅、伊豆箱机	艮鉄道三島広小路駅				
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		46.0									
增収策	その機会 (2) 検索力 (2) 検索対応。 (3) 対称学と (3) 小学ンラ (5) ソデルタ	ごスのコンテンナビタイム、 ナビタイム、 小学校等にる ひ長期休暇(そ テップバスをを 更新し、使いな イム混雑情報	線の存在をPEBサイトでの ンツプロバイ・ 駅すばあと、 おける「バス 等休み、車両更 きすいバス環 提供機能付い 提供機能付が	R の時刻を が が が が が が が が が が が が が	をサービスを タ提供によ ハ Yahoo! 」を沿線市)に合わせ ともに、既	を実施し及り、時刻表 東換案内、 町にて実施 た特別運賃 で事両にて	び、また乗換 長検索サービス GoogleMap) を も も で で で で も で で で で で で で の で の で の で				
費用削減策	いても、 削減を9 2)アイド! 注意喚起 3)車両の9	しやすいバス環境を整備) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った -) 効率的な仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った									
沿線市町の サポート	・運転免許記 ・公共施設で ・公共交通で ・三島駅南口	・高齢者へのバス等助成券の交付 ・運転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布 ・公共施設での時刻表の配架 ・公共交通マップの配布 ・三島駅南ロでのデジタルサイネージの運用 ・自治会に現況を情報発信し、利用促進を図る									



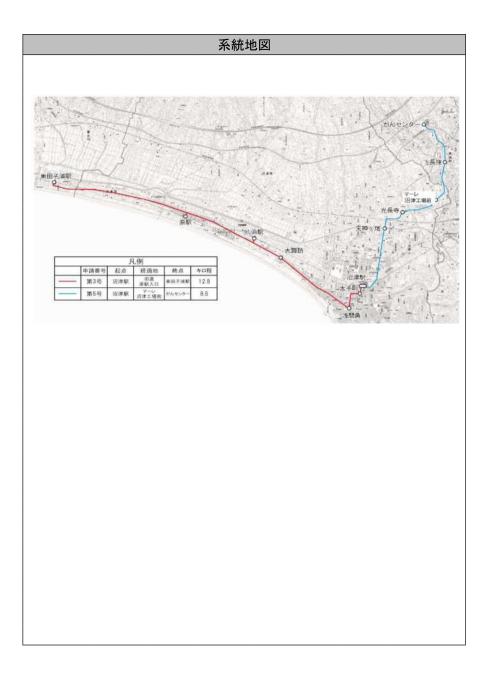
	12400) 牛皮连门,	יויפרנים מוו אול בי			- 1 /	17.20			
系統名		須山線		事業者名		富士急シテ	イバス			
	起点	経由地	終点							
路線の状況	三島駅	御宿 下和田上	須山			,				
系統十口程	(km)	19.7	輸送量(量 (人/日) 34.8						
平均乗車密度	(人/便)	4.2	運行回数	(回/日)	8.3					
ア <u>公</u> ア#	学校	I	大三島高校、三 校、富岡中学校				於、裾野西小学校、 」中学校			
アクセス状況公共・拠点施品	病院									
スが点が	スペーパー									
設	その他	裾野市役所、 士(宿泊研修		z所、裾野市	須山支所、	裾野警察署	、帝人アカデミー富			
収支率(%) (収益/費用)	47	7.5	乗車人員	(人)		105,8	37			
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停8	名称	拠点:JR三島駅 バス停:東レ入I		三菱前、佐野	、御宿、東名裾	野、今里、須山			
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		37.0								
増収策	2) 富士急 検索サービ に対応。(3) 幼稚園、 4) 小学生の 5) ノンスラ 装置を見 6) リアルタ	ナビタイム、 小学校等にる D長期休暇(そ Fップバスをを 更新し、使いな イム混雑情報	EBサイトでの ンツプロバイ 駅すばあと、 おける「バス 等休み、夏休 導入(車両更 ですいバス環 提供機能付が)時刻表検 ダジック シック シック シック シック がいる がいる がいる がいる がいる がいる がいる がいる	タ提供によ ノ、Yahoo 」を沿線市)に合わせ ともに、既	り、時刻表 乗換案内、(可にて実施 た特別運賃 存車両につ	接索サービス GoogleMap) i i i i i i i i i i i i i i i i i i i			
費用削減策	いても、 削減を写 2)アイド! 注意喚起 3)車両の見	しやすいバス環境を整備 1)燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した 2)アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った 3)車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った 4)効率的な仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った								
沿線市町の サポート	・運転免許記 ・公共施設で ・公共交通で ・三島駅南口	のバス等助成装 E自主返納者/での時刻表の配 での可の配布 フでのデジタ/ 線バス時刻表	へのバス等助 配架 レサイネージ	の運用	i					



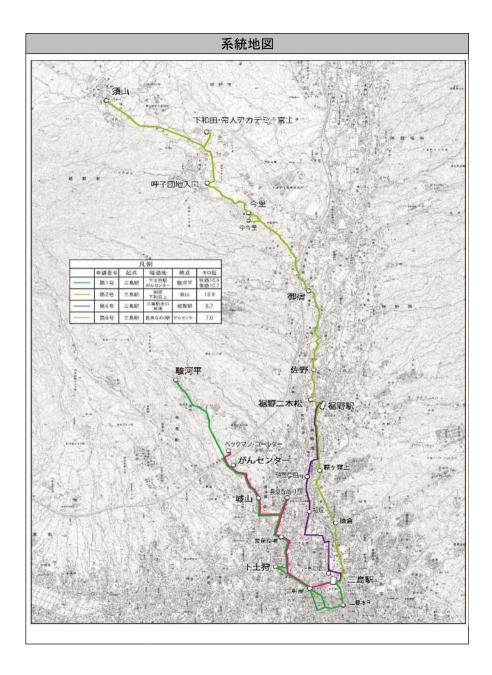
	10,00) 牛皮连门,	,							
系統名 		原線		事業者名		富士急シテ	ーィバス			
	起点	経由地	終点							
路線の状況 	沼津駅	旧道 原駅入口	東田子浦駅			ı				
系統キロ程	(km)	13.5	輸送量(
平均乗車密度	(人/便)	4.5	運行回数((回/日)	7.1					
ア <u>公</u>	学校	原小学校、原	京中学校、沼津西高校、第二中学校 							
アクセス 状. 公共・拠点施	病院									
人状況	商業施設	西友松長店、	カインズホーム	沼津店						
が設	その他	JR沼津駅、JF	R片浜駅、JR原	原駅、JR東日	日子浦駅、保	健センター、丿	原警察署			
収支率(%) (収益/費用)	59	0.3	乗車人員	(人)		92,5	76			
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 4 バス停 2	名称	拠点:JR沼津 バス停:大手		子浦駅、JR片	浜駅、JR原駅	7			
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		6.0								
増収策	その機会: 2) 検索力を 検索対応(3) 対称学と 3) がチンス 5) ソアルタ・ 6) リアルタ・	を利用して路 アループのWE アンスクタイン アンタイ学校等で アンスト アンスト アンスト アンスト アンスト アンスト アンスト アンスト	I携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、を利用して路線の存在をPRがループのWEBサイトでの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換プスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスナビタイム、駅すばあと、ジョルダン、Yahoo乗換案内、GoogleMap)ル学校等における「バス乗り方教室」を治線市町にて実施り長期休暇(春休み、夏休み、冬休み)に合わせた特別運賃導入を導入・ップバスを導入(車両更新)するとともに、既存車両についても案内表示 I 使いやすいバス環境を整備イム混雑情報提供機能付バスロケーションシステムを導入し、利用 ************************************							
費用削減策	いても、 削減を写 2)アイドリ 注意喚起 3)車両の見	富士急グル- ミ施した リングストップ 型により、燃動 動により、場	ス環境を整備 イルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等につ富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト施した ングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査によるにより、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った 新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った 仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った							
沿線市町の サポート	内所のほか、 ・転入手続き ・沼津駅付近の ・対集では ・利をでは ・利をでは ・対域の ・対域の ・対域の ・対域の ・対域の ・対域の ・対域の ・対域の	主に駅周辺のきの際に転入るこのデジタルサンの小学校においる社共通フリスを記する	D宿泊施設に 皆に対し、バ ナイネージに ハてバスを販う とし、令和4 ⁴ ずー系統であ 実施	配架 ス路線図(% おいて、沼 り方教室を もし、学生 F4月1日か	日津市公共3 津駅発の路 実施 の利用を促 いら幹線であ	Σ通deおで7 線バスの情 進 5る原線を斬	や市内外の観光案 かけマップ)を配布 報を集約化 曲とした路線の再 片浜・柳沢線に乗			



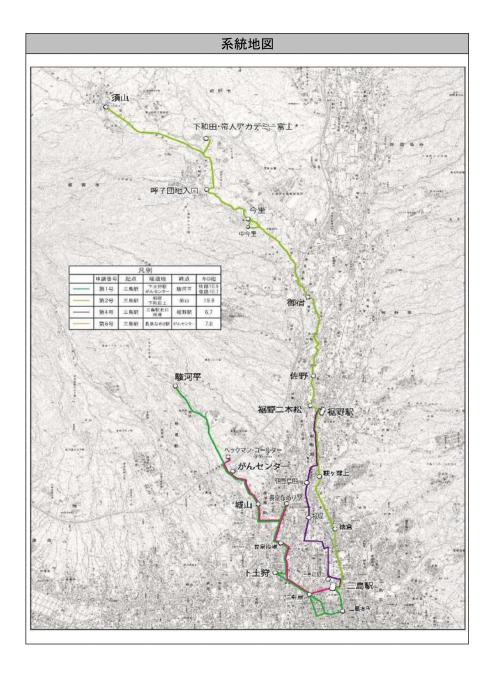
		一及进门				· ·				
系統名 		バんセンターA 	尿 	事業者名		富士急シテ 	ィバス			
	起点	経由地	終点							
路線の状況	沼津駅	北小林	がんセンター							
系統キロ程	(km)	8.5	輸送量(人/日)	26.4					
平均乗車密度	(人/便)	5.4	運行回数		4.9					
ア <u>公</u>	学校	沼津中央高校、沼津市立高校、加藤学園高校、飛龍高校、県立沼津城北高校、沼津技術専門校(沼津テクノカレッジ)、 張五川学校、第五中学校、金岡中学校、加藤学園研秀初等学校、門池川学校、門池中学校、沼津機関特別支援学校、沼津 勝実体別支援学校								
ク・セル	病院		沼津健康福祉プラザ/沼津夜間救急医療センター(サンウェルぬまづ)、静岡県立がんセンター							
	商業施設	フードストス	アあおき(ス	ーパーマー	ケット)					
状施 況設	その他		R沼津駅、沼津税務署、法務局沼津支局、沼津年金事務所、沼津商工会請、マーレエレクトリックジャパン(大手事業所)							
収支率(%) (収益/費用)	81	.4	乗車人員(人) 41,452							
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停 4	名称	拠点:JR沼 バス停:加藤		宮下、下長滔	筆、がんセンタ	_			
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		31.0								
增収策	その機会 2)機会 全富士サービ に対す極い。 3)幼科学と 5) ノン 大置を 6)リアルタ	ナビタイム、 小学校等にる D長期休暇(れ テップバスを 更新し、使い イム混雑情報	線の存在をPEBサイトでの シツプロバイトでの シツプはあと、 いける「バラ 等体み、車両更 さすいバス環 提供機能付/	R 時 対 が が が が が が が が が が が が が	をサービスを タ提供によ ノ、Yahoo シ」を沿線市 シ)に合わせ ともに、既	実施し及て り、時刻表 乗換案内、(町に特別運 た特別運賃 存車両につ	が、また乗換 検索サービス GoogleMap) 導入を導入 いても案内表示			
費用削減策	しやすいバス環境を整備 1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った 4) 効率的な仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った									
沿線市町の サポート	内所のほか、 ・転入手続き ・沼津駅南口 ・沿線付近の ・学生向けの	・バス路線図(沼津市公共交通deおでかけマップ)を沿線付近の公共施設や市内外の観光3内所のほか、主に駅周辺の宿泊施設に配架 ・転入手続きの際に転入者に対し、バス路線図(沼津市公共交通deおでかけマップ)を配す ・沼津駅南口のデジタルサイネージにおいて、沼津駅発の路線バスの情報を集約化 ・沿線付近の小学校においてバスの乗り方教室を実施 ・学生向けの3社共通フリーバスを販売し、学生の利用を促進 ・自治会に現況を情報発信し、利用促進を図る								



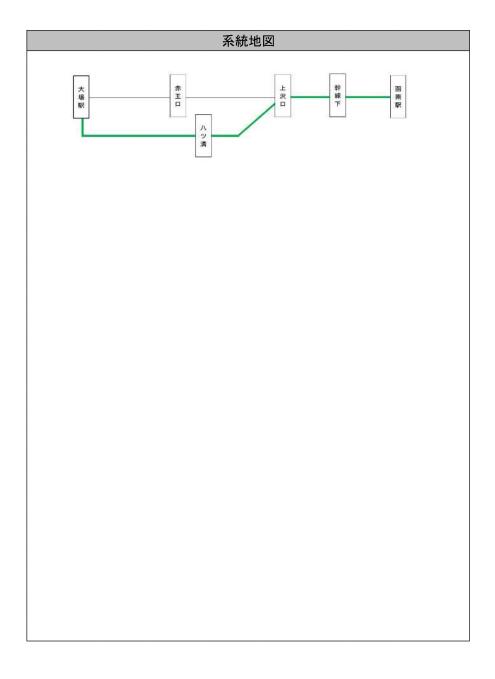
	1	一人			,	1) 13-24-		
系統名	t	がんセンターA 	泉	事業者名		富士急シティバス		
	起点	経由地	終点					
路線の状況	三島駅	長泉なめり駅	がんセンター					
系統キロ程	(km)	7.0	輸送量(人/日)	58.5			
平均乗車密度	(人/便)	4.8	運行回数(回/日) 12.2					
ア <u>公</u>	学校	長泉北小学校	· 、長泉小学	校、長泉中	学校			
ク*・ セ _m	病院	静岡県立がん	骨岡県立がんセンター					
	商業施設	ウェルディ县	長泉(ショット	ピングセン	ター)			
次施 況設	その他	JR下土狩駅、伊 泉町文化会館、^	R 下土狩駅、伊豆箱根鉄道広小路駅、長泉町役場、長泉健康公園(ウェルビア長泉)、三島市民会I 町文化会館、ベックマン・コールター、ファルマーバレーセンター(大手事業所)					
収支率(%) (収益/費用)	88	3.O	乗車人員	(人)		69,267		
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 3 バス停 2	名称	拠点:JR三 バス停:長泉			長泉なめり駅		
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		59.0						
増収策	その機会 (2) 検索力 (2) 検索対応。 (3) 対称学 (3) 小学ン (5) ノン置を (6) リアルタ	を利用して路 バループのWE バスのフンム、 ナビタヤ特に 小長ガバスのを であり、使いな であり、 でもり、 でもり。 でもり、 でもり、 でもり、 でもり、 でもり。 でもり。 でもり。 でもり。 でもり。 でもり。	線の存在をPEBサイトでの ンツプロバイ・駅すばあと、 いける「バス いける、東西 等入(車で は は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	R)時刻 が が が が が が が が が が が が が	をサービスを タ提供によ ハ Yahoo! 」を沿線市)に合わせ ともに、既	た特別運賃導入を導入 存車両についても案内表示		
費用削減策	いても、 削減を9 2)アイドリ 注意喚起 3)車両の9	6)リアルタイム混雑情報提供機能付バスロケーションシステムを導入し、利用しやすいバス環境を整備 1)燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した 2)アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った 3)車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った 4)効率的な仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った						
沿線市町の サポート	・運転免許記・公共施設で ・公共交通で ・三島駅南口 ・市HPに路	効率的な仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った 齢者へのバス等助成券の交付 転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布 共施設での時刻表の配架 共交通マップの配布 島駅南口でのデジタルサイネージの運用 HPに路線バス時刻表のリンクを掲載 治会に現況を情報発信し、利用促進を図る						



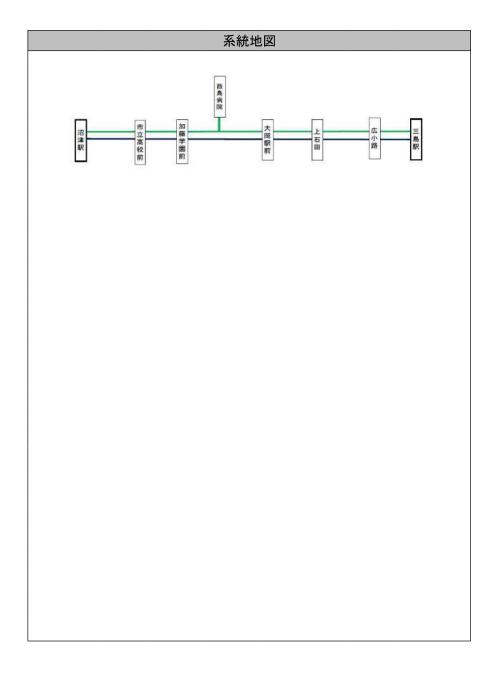
	13700) 十 皮连门.	יין הרניו מוו אול רכ			1 /	14762		
系統名		桜堤線		事業者名		富士急シラ	ティバス		
路線の状況	起点 三島駅	経由地 三島駅北口 桜堤	終点 裾野駅						
系統十口程	(km)	6.7	輸送量(人/日)	54.9				
平均乗車密度	(人/便)	4.5	運行回数((回/日)	12.2				
ア <u>公</u> ア#	学校	日本大学、日	日本大学、日本大学三島高校、三島北高校、長陵高校、裾野南小学校						
クサ・	病院								
アクセス状況公共・拠点施設	商業施設		ノスポ長泉、しずてつストア長泉店、ノジマ長泉店、マックスバリュ長泉中土狩店、コー 」ずおか桜堤店						
光設	その他		ローワーク三島、簡易裁判所、勤労体育センター、裾野警察署、裾野市役所、J R東海総計が修センター、東レ、東レ総合研修センター、三菱アルミニウム、米山梅吉記念館						
収支率(%) (収益/費用)	68								
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 3 バス停 1	名称	拠点:JR三 バス停:三菱		三島駅(北	□)、J Rá	据野駅		
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		93.0							
増収策	その機会 2)検索サービ (京本が応。 (3) 幼科学生 (5) リンと (6) リアルタ	なと連携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、機会を利用して路線の存在をPR に急グループのWEBサイトでの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスの。(ナピタイム、駅すばあと、ジョルダン、Yahoo乗換案内、GoogleMap) 俳園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施学生の長期休暇(春休み、夏休み、冬休み)に合わせた特別連貫導入を導入ノステップバスを導入(車両更新)するとともに、既存車両についても案内表示置を更新し、使いやすいバス環境を整備ルタイム混雑情報提供機能付バスロケーションシステムを導入し、利用							
費用削減策	いても、 削減を9 2)アイドリ 注意喚起 3)車両の9	燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施したアイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った効率的な仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った							
沿線市町の サポート	・運転免許記 ・公共施設で ・公共交通で ・三島駅南口	Dバス等助成数 E自主返納者を での時刻表の配 マップの配布 コでのデジタル 記次を情報発信	へのバス等助。 配架 レサイネージ	の運用	i				



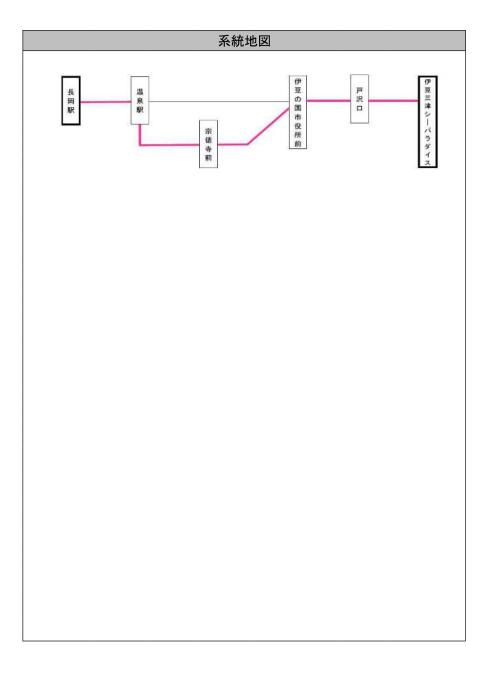
	<u> コルに</u>	1年及建17	刀术机划剂	」用夫忠	(公衣ン)	- F) 1*XZ		
系統名		大場函南線		事業者名		伊豆箱根バス		
	起点	経由地	終点					
路線の状況	大場駅	八ツ溝	函南駅					
系統十口程	(km)	4.1	輸送量()	人/日)	15.9			
平均乗車密度	(人/便)	1.5	運行回数((回/日)	10.6			
ア <u>公</u> アサ	学校	函南中学校						
クサークサーク・サーク・サーク・サーク・サーク・サーク・サーク・サーク・サーク・	病院	井出歯科医院	完、宇野眼科、	函南耳鼻咽	喉科、整形タ	外科函南クリニック		
アクセス状!	商業施設							
	その他	大場駅、函南 上沢公民館	大場駅、函南駅、函南町文化センター、函南町立図書館、函南町ふれあいt 上沢公民館					
収支率(%) (収益/費用)	40	.8	乗車人員(人) 20,030					
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 3	名称	拠点:伊豆箱 バス停:八ツ			5馬尺		
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		56.2						
増収策	ICカード系	用して運行状; 川用促進(バス データの整備	乗り方教室等]らせの配信	i		
費用削減策	・仕業数の見直しによる人件費の削減を実施 ・アイドリングストップ強化 ・有償・無償に係わらす事故の削減強化 ・ダイヤ数の縮小にともなう減車							
沿線市町の サポート	・運転免許記でいる。 ・運転免許記でいる。 ・一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の	高齢者へのバス等助成券の交付 運転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布 公共施設での時刻表の配架 公共交通マップの配布 三島駅南口でのデジタルサイネージの運用 町内バスマップの配布 町内バスマップの配布 岡内バスマップの配布 岡内バスマップの配布 岡内でのデジタルサイネージの運用 町内がスマップの配布 岡内がスマップの配布 河内がスマップの配布 河内が、者に対し配布 岡内町文化センターで乗り換え可能な拠点循環バスの停留所を新設 治線地区住民との意見交換会を実施						



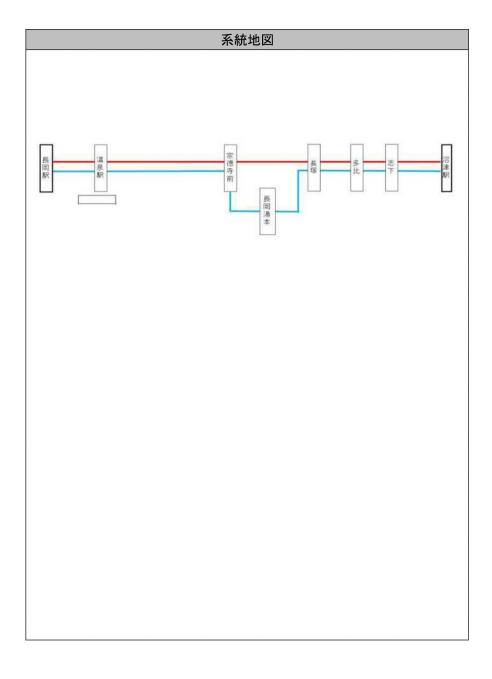
	13.10.0	7 1/ <u>5</u> / E 13.	カボボルボ		(41()	- ·)	
系統名		3津大岡三島約 	泉 	事業者名		伊豆箱根バス	
	起点	経由地	終点				
路線の状況	沼津駅	市立高校前 上石田	三島駅				
系統キロ程	(km)	7.6	輸送量(人/日)	135.6		
平均乗車密度	(人/便)	6.0	運行回数((回/日)	22.6		
ア <u>公</u>	学校	沼津中央高标 校、知徳高标		高校、加藤	学園高校、	加藤学園初等学校、大岡中学	
ク・セャ	病院	西島病院、池	也田病院				
ス党	商業施設						
况設	その他	プラザヴェル 島商工会議所		工会議所、	サンウェル	沼津、三島市民文化会館、三	
収支率(%) (収益/費用)	102	2.2	乗車人員(人) 250,038				
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 4 バス停 3	名称	拠点: J R ネ バス停:加藤			島広小路駅、JR三島駅 本町	
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		57.6					
増収策	ICカード系	用して運行状 山用促進(バス データの整備	乗り方教室等		16せの配信	en e	
費用削減策	 仕業数の見直しによる人件費の削減を実施 アイドリングストップ強化 有償・無償に保わらず事故の削減強化 ダイヤ数の縮小にともなう減車 						
沿線市町の サポート	はか、主に続きいい。 ・転入手駅付向はかいののでは、 ・活治学生齢をは、 ・高運転性のである。 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、	同辺に立ている。 同辺にもない。 同辺にジタンにジャンに ので学校は 明立で は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	受に配架 こ対し、バス路 イネージにありた こバスの乗りた パスを販売し か交付 カバス等助成差 サイネージの過	器線図(沼津市) イで、沼津駅 対象室を実施 、学生の利 ・の配布	5公共交通de 発の路線バス i 用を促進	共施設や市内外の観光案内所の おでかけマップ)を配布 スの情報を集約化	



	13/10/0) 牛皮度门,	וויה הנים מונצול בי		(111)	- 1-) 1x202			
系統名	長岡伊豆	三津シーパラ	ダイス線	事業者名		伊豆箱根バス			
DEVA ALINO	起点	経由地	終点						
路線の状況	長岡駅	温泉駅 宗徳寺	伊豆三津シーパラダイス						
系統キロ程	(km)	7.7	輸送量(1 (人/日) 76.1					
平均乗車密度	(人/便)	4.4	運行回数	(0/8)	17.3				
ア公	学校	長岡南小学村	Σ						
アクセス状!	病院	順天堂大学病院							
ス状況施	商業施設	マックスバリ	ノュ長岡店						
况施 況設	その他	伊豆の国市役	设所、長岡総6	合会館、内	浦地区セン	ター			
収支率(%) (収益/費用)	78	3.8	乗車人員	(人)		122,972			
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 1 バス停 5	名称	拠点:伊豆箱根金 バス停:温泉駅、		、宗徳寺前、三洋	 郵便局、伊豆三津シーパラダイス			
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		31.5							
増収策	・SNSを活用して運行状況や、沿線情報等のお知らせの配信・ICカード利用促進(バス乗り方教室等で実体験) ・GTFS-JPデータの整備								
費用削減策	 仕業数の見直しによる人件費の削減を実施 ・アイドリングストップ強化 ・有償・無償に係わらず事故の削減強化 ・ダイヤ数の縮小にともなう減車 								
沿線市町の サポート	ほか、主に駅 ・転入手続き ・沼津村前の ・学生を ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でである。 ・でい。 ・でい。 ・でい。 ・でいる。 ・でいる。 ・でい。 ・ と。 ・ と。 ・ と。 ・ と。 ・ と。 ・ と。 と。 ・ と。 ・ と。 と。 ・ と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	・バス路線図(沼津市公共交通deおでかけマップ)を沿線付近の公共施設や市内外の観光案内所のほか、主に駅周辺の街泊施設に配架 ・転入手続きの際に転入者に対し、バス路線図(沼津市公共交通deおでかけマップ)を配布 ・沼津駅南口のデシタルサイネージにおいて、沼津駅発の路線バスの情報を集約化 ・沿線付近の小学校においてバスの乗り方教室を実施 ・学生向けの3社共通フリーバスを販売し、学生の利用を促進 ・福祉タクシー等利用助成券を高齢者等に交付 ・市内の全バス路線図や時刻表等を記載した「くらしの公共交通まるごとマップ」を伊豆長岡駅 などに配架 ・市の将来の公共交通の在り方を市民に問い掛ける記事を市の広報紙に定期的に掲載							



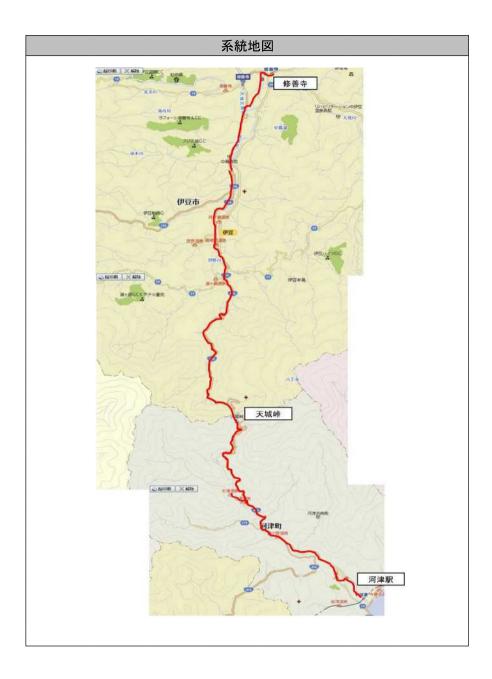
	טיים כ	1年及建17	ノ 木がにかり			- 下)			
系統名	72	2津静浦長岡総	泉	事業者名		伊豆箱根バス			
	起点	経由地	終点						
路線の状況	沼津駅	長塚 温泉湯本	長岡駅						
系統キロ程	(km)	16.0	輸送量((人/日) 149.4					
平均乗車密度	(人/便)	6.2	運行回数((回/日)	24.1				
ア <u>公</u>	学校	静浦小中一貫校、沼津第四小学校、沼津第三小学校、長岡中学校、長岡南小学校							
アクセスル	病院	順天堂大学静 院	東天堂大学静岡病院、長岡リハビリテーション病院、慈広会記念病院、瀬尾記念劇						
 	商業施設	マミー沼津三 リュ伊豆長岡	ミー沼津三園店、ジョイランド香貫、ジャンボエンチョー沼津店、マックスバ ュ伊豆長岡店						
次施 況設	その他	沼津市役所・沼津 ター・江の浦中央	□市民文化センター □公民館・多比公目	- ・沼津総合体 民館・長岡総合	育館・沼津簡易 会館・沼津御用	裁判所・志下公会堂・静浦地区セン 邸			
収支率(%) (収益/費用)	89	.4	乗車人員(人) 389,320						
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 3	名称	拠点:JR沼津 バス停:大手			岡駅			
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		17.1							
增収策	・SNSを活用して運行状況や、沿線情報等のお知らせの配信 ・ICカード利用促進(バス乗り方教室等で実体験) ・GTFS-JPデータの整備								
費用削減策	・仕業数の見直しによる人件費の削減を実施 ・アイドリングストップ強化 ・有償・無償に係わらず事故の削減強化 ・ダイヤ数の縮小にともなう減車								
沿線市町の サポート	・バス路線図(沼津市公共交通deおでかけマップ)を沿線付近の公共施設や市内外の観光案内所のほか、主に駅周辺の宿泊施設に配架 ・転入手続きの際に転入者に対し、バス路線図(沼津市公共交通deおでかけマップ)を配布 ・沼津駅南口のデジタルサイネージにおいて、沼津駅発の路線バスの情報を集約化 ・沿線付近の小学校においてバスの乗り方教室を実施 ・学生向けの3社共通フリーバスを販売し、学生の利用を促進 ・福祉タクシー等利用助成券を高齢者等に交付 ・市の名全バス路線図や時刻表等を記載した「くらしの公共交通まるごとマップ」を伊豆長岡駅などに配架 ・市の将来の公共交通の在り方を市民に問い掛ける記事を市の広報紙に定期的に掲載								



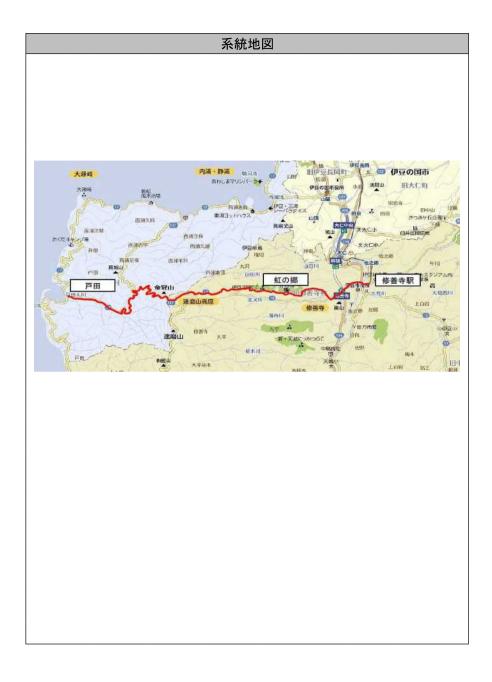
	- 13 AU C	1年及建17	力 术 机 加木		(五衣シー	- (-i	1米工(2		
系統名		石廊崎線		事業者名		東海バ	i ス		
18/4 A 44\7	起点	経由地	終点						
路線の状況	下田駅	休暇村	石廊崎 オーシャンパーク						
系統キロ程	(km)	22.4	輸送量(人/日)	48.0				
平均乗車密度	(人/便)	3.2	運行回数((回/日)	15.0				
ア公	学校	下田高校、南	9伊豆東中学	交、朝日小	学校、南伊	豆東小学校			
ク ク セ _加	病院	下田メディカルセンター、伊豆下田診療所、みなとクリニック							
アクセス状況 公共・拠点施	商業施設	下田とうきゅ	下田とうきゅう、マックスバリュ下田銀座店、フードストアあおき広岡店						
次施 況設	その他	伊豆急行伊豆急下田駅、下田市役所							
収支率(%) (収益/費用)	48	5.5	乗車人員(人) 93,752						
乗換可能な アクセス拠点等	拠点:1 バス停:5	名称	拠点:伊豆急 バス停:広岡			一、吉佐美、	、日野、石廊崎港口		
広域利用状況(他市町へ跨ぐ利		59.1							
増収策	1.利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。 2.時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 3.時刻表検索サイトへの増出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 4.高校生に対し、バスのダイヤ等に関するアンケートを実施し、ダイヤ改正に生かしている。 5.バスロケーションジステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。 6.下田駅、下田メディカルセンター、石廊崎オーシャンパーク等において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 7.ホームページを多言語対応とすることにより、インパウンド舎の利便性向上を図っている。 8.乗車券販売窓口(一部除く)において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。 9.小田急の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーバスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 10.交通第1 Cカードの導入により、利便性の向上を図っている。								
1.5年度賃金(人件費)についても、業績連動制度により経費の抑制に努めている。 2.エコドライブ(省燃費運転)を継続して取り組み経費抑制に努めている。 3.乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。									
沿線市町の サポート	・中学生の通学定期補助の実施 ・交通事業者と連携し、市回覧で時刻表の配布 ・ 下田駅でのデジタルサイネージによる時刻表案内の実施 ・交通事業者と連携した、利用促進策の実施 ・燃料高騰にかかる補助金を支出 ・ 小、中、高校生の通学補助の実施 ・ 高齢者の通院時のバス利用料金補助 ・ 高齢者の通院時のバス利用料金補助 ・ 観光チラシ等に交通手段としてバス情報を掲載 ・ 観光施設にバス情報を掲示								



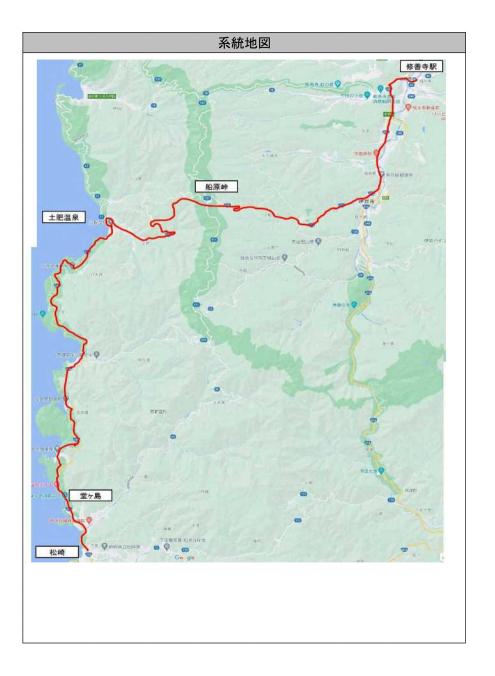
	טיינו כ	一块压13.	יין הרניו מוו אול רל			1472				
系統名		天城峠線		事業者名		東海バス				
PR/A A INC	起点	経由地	終点							
路線の状況	修善寺駅	天城峠	河津駅							
系統キロ程	(km)	41.4	輸送量(人/日)	38.0					
平均乗車密度	(人/便)	3.8	運行回数((回/日)	10.0					
ア公	学校	伊豆総合高村 南小学校	伊豆総合高校、天城中学校、天城小学校、河津西小学校、河津中学校、河津 南小学校							
ク. ク. セ. _m	病院	伊豆赤十字病	豆赤十字病院、中島病院、伊豆慶友病院							
アクセス状況公共・拠点施設	商業施設	マックスバリ	ックスバリュ修善寺駅前店、フードストアあおき河津店							
設	その他		P豆市役所、伊豆市天城湯ヶ島支所、河津町役場、伊豆箱根鉄道修善寺駅、 P豆急行河津駅							
収支率(%) (収益/費用)	49	0.2	乗車人員(人) 128,466							
乗換可能な アクセス拠点等	拠点:2 バス停:11	名称	バス停:修善き	f駅口、修善=	沢、伊豆急行河津 宇温泉入口、柿木 温泉口、二階滝、	橋、天城小学校、出口、四品				
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利	兄(%) J用者の割合)	40.4								
增収策	2.時刻表を市役け 3.時刻表検索対し、 5.バスロかる。 6.修本のである。 6.修本のである。 7.ホールのである。 8.利便性向上を図った。	旧者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。 刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との東火砂器で明刻が検索できるようになっている。 校生に対し、バスのダイヤ学に関するアンケートを実施し、ダイヤ改正に生かしている。 にスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を でいる。 善寺駅、河津駅等において、デシタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 ・一ムページを多言語対応とすることにより、インパウンド舎の利使性向上を図っている。 ・一本ページを多言語対応とすることにより、インパウンド舎の利使性向上を図っている。 ・世帯販売窓口(一部除く)において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、 性向上を図っている。 他急の進める「MaaS」に参画し、デシタルフリーバスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。								
費用削減策	2.エコドラィ	′ブ(省燃費運	転)を継続して	て取り組み	経費抑制に努め	の抑制に努めている。 かている。 費の抑制を図っている。				
沿線市町の サボート	・高齢4タク5 ・高齢4タク5 ・高神2の1 ・ボス刻をも見と ・地刻表の園 ・地刻表の自 ・地刻表の自	ノー等(鉄道 環境整備事業の 己布、公共施言 等においてバス この意見交換を	助事業 申証(いきい・ ・バス含む) ・が補助 投で時刻表等 スの乗り方教 会を実施	利用の助成 配布コーナ 室を実施		費の補助				



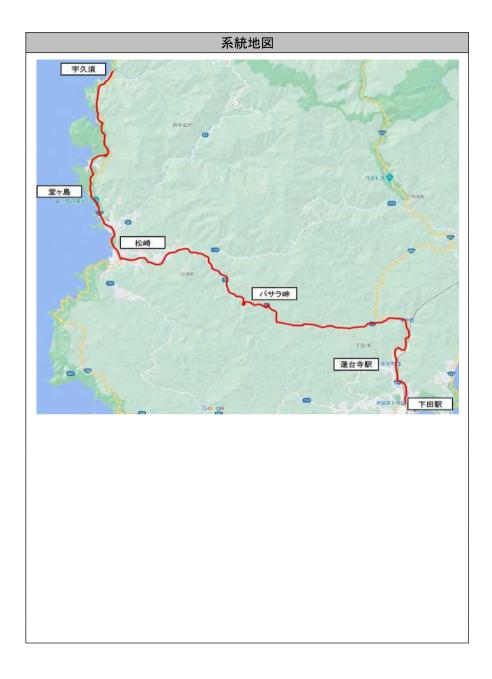
745	15100	/d				1,7 13,7-4-				
系統名 		──戸田線 		事業者名		東海バス 				
路線の状況	起点	経由地	終点							
は合称のAAが、	修善寺駅	虹の郷	戸田							
系統キロ程	(km)	25.1	輸送量(人/日)	26.6					
平均乗車密度	(人/便)	3.8	運行回数((回/日)	7.0					
ア <u>公</u> ア#	学校	伊豆総合高村	交、戸田中学4	校、戸田小	学校					
ク・セル	病院	伊豆赤十字病院								
スパースが	商業施設	マックスバリ	リュ修善寺駅前	前店						
が設	その他		豆箱根鉄道修善寺駅、伊豆市役所、修善寺総合会館、沼津市戸田市民窓 、くるら戸田							
収支率(%) (収益/費用)	51	.5	乗車人員(人) 46,262							
乗換可能な アクセス拠点等	拠点:1 バス停:5	名称	拠点:伊豆箱根 バス停:修善き 田			が 善寺温泉、ニュータウン)	入口、戸			
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		41.1								
増収策	2.時刻表を存本し、 3.時刻表を存本し、 5.バスロケーションでは、 5.バスロケーションでは、 5.バスロケーションでは、 6.修善ムページを 7.ホー単物。 6.を第一ムページを 7.ホー単物。 7.ホーシのとのと 9.小田島の進める	質の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。 核を市役所等で配布している他、新聞片込等により各戸へ配布している。 技権素サイトの掲出により、鉄道との乗り継き時刻が検索できるようになっている。 Eに対し、バスのダイヤ等に関するアンケートを実施し、ダイヤ改正に生かしている。 カンションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を いる。 多野、 るら戸田等において、デシタルサイネーシを設置し、時刻案内等を行っている。 かペーシを参言語対応とすることにより、インバウント答の利便性向上を図っている。 特販売窓口(一部除く)において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、 助上を図っている。 急の進める「MaaS」に参画し、デシタルフリーバスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 急気進める「MaaS」に参画し、デシタルフリーバスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。								
費用削減策	1.5年度賃金(人件費)についても、業績連動制度により経費の抑制に努めている。 2.エコドライブ(公際典)電話にお課誌して取り組み経典抑制に努めている。									
沿線市町の サポート	・バス路線図(沼津市公共交通deおでかけマップ)を各地区センターのほか、沼津、戸田伊豆それぞれの観光案内所に配架 ・転入手続きの際に転入者にバス路線図(沼津市公共交通deおでかけマップ)を配布・小中学生のバス通学費全額補助・高校生のバス通学費補助事業・高齢者路線バス割引乗車証(いきいきパス)の販売及び購入費の補助・福祉タクシー等(鉄道・バス含む)利用の助成・バス待ち環境整備事業の補助・時刻表の配布、公共施設で時刻表等配布コーナーを設置・こども園等においてバスの乗り方数室を実施・地域住民との意見交換会を実施									



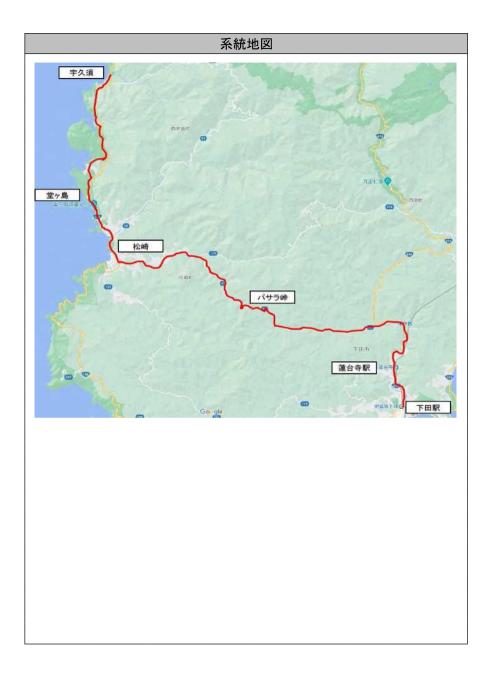
	15 10 0	一块压13.	7 7 1 (1) (1) 33 1 .	371374761		17 13				
系統名		西海岸線		事業者名		東海バス				
	起点	経由地	終点							
路線の状況	修善寺駅	土肥温泉	松崎							
系統キロ程	(km)	54.4	輸送量(人/日)	54.4					
平均乗車密度	(人/便)	4.0	運行回数((回/日)	13.6					
ア公 ア#	学校		交、伊豆総合花 豆中学校、賀花			交、天城小学校、	土肥小中一			
L 57	病院	伊豆赤十字病	豆赤十字病院、中島医院、西伊豆病院、石田病院							
クセス状 ¹² 拠点施	商業施設	マックスバリマックスバリ	クスバリュ修善寺駅前店、マックスバリュエクスプレス天城湯ケ島店、 クスバリュエクスプレス土肥店、フードストアあおき西伊豆店							
況設	その他	伊豆市役所、 道線修善寺!		土肥支所、	西伊豆町役均	易、松崎町役場、	伊豆箱根鉄			
収支率(%) (収益/費用)	45	.9	乗車人員	. (人)		117,633				
乗換可能な アクセス拠点等	拠点:2 バス停:7	名称	拠点:伊豆箱根 パス停:修善寺 橋			入口、柿木橋、出[□、宇久須、浜			
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利		66.6								
增収策	2時刻表を市役列 3時刻表を存すけ、 3時刻表検知し、 5パスに対き。 6.下答・ 6.下答・ 6.下答・ 7.ホーム外売窓図っ 8.乗車性向上の進め 9.小田のの進め 9.か田ののが 9.か田ののが 1.00のである。	6.下修善寺駅、土肥港フェリーターミナル、堂ヶ島、松崎等において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行って								
費用削減策	2.エコドラィ	ブ(省燃費運	転)を継続して	て取り組み	経費抑制に夠	費の抑制に努め 努めている。 繕費の抑制を図				
沿線市町の サボート	・高校生の/ ・高齢4タク5 ・福ス列表の西 ・地域をは ・地刻表の面 ・地刻表のの ・地刻表のの	のバス通学費雪 デスス通学費雪 デスス調子 デスス でででである。 ででである。 ででる。 でである。 ででる。 ででる。 でである。 でで。	助事業 車証(いきい)・バス含む): が補助 投で時刻表等 スの乗り方教 会を実施 ス券の配布	利用の助成 配布コーナ 室を実施		入費の補助				



	טיים כ) 十皮连门,	יין הרניז מוי צוע רע		(AR)	1 / 19	\			
系統名		バサラ峠線		事業者名		東海バス				
on (d Unio	起点	経由地	終点							
路線の状況	下田駅	バサラ峠	堂ヶ島							
系統キロ程	(km)	30.6	輸送量(人/日)	44.6					
平均乗車密度	(人/便)	3.6	運行回数((回/日)	12.4					
ア ア ナ	学校		公崎高校、稲 学校、松崎小			校、松崎中学校	、稲生沢小学			
ク サ ・・・	病院	菊池医院、7	5田医院、西(尹豆病院						
アクセス状況が出来・拠点施設	商業施設		引とうきゅう、マックスバリュ伊豆下田店、マックスバリュ松崎店、フー ストアあおき西伊豆店							
設	その他		田市役所、松崎町役場、西伊豆町役場、下田合同庁舎、下田警察署、伊 下田駅、蓮台寺駅、稲梓駅							
収支率(%) (収益/費用)	48	3.6	乗車人員	(人)		76,272				
乗換可能な アクセス拠点等	拠点:4 バス停:5	名称	拠点:伊豆急行 バス停:中の潮	「線下田駅、(f f、大沢温泉(更急行線蓮台 □、松崎小学科	合寺駅、伊豆急行線 交、浜橋、堂ヶ島	稲梓駅、松崎			
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利	兄(%) 用者の割合)	54.2								
増収策	2時刻表を存来して 3時刻表を探索サイ 4.高校生にフリン 5.バスロケーション 6.下田駅、松崎、 7.ホームページ窓 8.乗車対販・た窓口 9.小田島の進める	利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を31続き実施している。 肺刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 肺刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 高校生に対し、バスのダイヤ等に関するアンケートを実施し、ダイヤ改正に生かしている。 バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を っている。 下日駅、松崎、堂ヶ島等において、デジタルサイネージを設置し、時刻家丸等を行っている。 ボスページを多言語対応とすることにより、インパウンド等の利便性向上を図っている。 乗車券販売窓口(一部除く)において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、 便性向上を図っている。 小田舎の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーバスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 0.交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。								
費用削減策	2.エコドラィ	′ブ(省燃費運	転)を継続して	て取り組み	経費抑制に	費の抑制に努め 努めている。 繕費の抑制を図				
沿線市町の サポート	・交通事業者 ・下田駅での ・交通事業者 ・燃料高騰に ・時刻表の自	通学定期補助の 音と連携し、「 うごタルレた、 こかかあれいだ。 こかがあれいだ。 こかがあれいた。 こかがあれいた。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	市回覧で時刻 イネージによ 利用促進策 金を支出 ス券の配布	る時刻表案 の実施	内の実施					



	טיוינו כ) 牛皮连门,	יין ייני הרעיז מוי אוע רע		(41)	1 /	1774		
系統名		バサラ峠線		事業者名		東海バス			
路線の状況	起点	経由地	終点						
	下田駅	バサラ峠	宇久須						
系統キロ程	(km)	40.1	輸送量()	人/日)	26.2				
平均乗車密度	(人/便)	6.9	運行回数((回/日)	3.8				
アクセス状況が点施設	学校	下田高校、松崎高校、稲生沢中学校、稲梓中学校、松崎中学校、稲生沢小学 梓小学校、松崎小学校、仁科小学校、仁科中学校、賀茂小学校							
	病院	菊池医院、石田医院、西伊豆病院							
	商業施設	下田とうきゅう、マックスバリュ伊豆下田店、マックスバリュ松崎店、フー ドストアあおき西伊豆店							
	その他	下田市役所、松崎町役場、西伊豆町役場、下田合同庁舎、下田警察署、伊 急下田駅、蓮台寺駅、稲梓駅							
収支率(%) (収益/費用)	92	8	乗車人員	(人)	67,488				
乗換可能な アクセス拠点等	拠点:4 バス停:5	名称	拠点:伊豆急行 パス停:中の潮				行線稲梓駅、松崎 須		
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利	兄(%) 用者の割合)	75.0							
增収策	1 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。 2 時刻表を仲心でいる。 2 時刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 3 時刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 4 高校生に対し、バスのダイヤ等に関するアンケートを実施し、ダイヤ改正に生かしている。 5 バスロケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフィンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。 6 下田駅、下田メディカルセンター、石廊崎オーシャンパーク等において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 7 ボームページを多言語対応とすることにより、インパウンド答の利便性向上を図っている。 8 乗車券販売窓口(一部除く)において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性日上を図っている。 9 川田島の進める「MaaS」に参画し、デジタルフリーパスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 10 交通系 I Cカードの導入により、利便性の向上を図っている。								
費用削減策	1.5年度賃金(人件費)についても、業績連動制度により経費の抑制に努めている。 2.エコドライブ(省燃費運転)を継続して取り組み経費抑制に努めている。 3.乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。								
沿線市町の サボート	・交通事業者 ・下田駅での ・交通事業者 ・燃料高騰に ・時刻表の全	通学定期補助の 音と連携し、「こう ではませいた、「こう ではませいた、 になかのではいた。 こかのではいた。 こかのではいた。 では、こかでは、こかでは、こかでは、こかでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	市回覧で時刻 イネージによ 利用促進策 金を支出 ス券の配布	る時刻表案 の実施	内の実施				



	טיינו –	一块压1.	ノボがのが			1 /	17.202		
系統名		北遠本線			水窪タクシー				
路線の状況	起点	経由地	終点						
	水窪町	西渡 横山車庫 山東	西鹿島駅						
系統十口程	(km)	52.7	輸送量()	人/日)	4.4				
平均乗車密度	(人/便)	1.1	運行回数((回/日)	4.0				
アクセス状況公共・拠点施設	学校	天竜高等学校、清竜中学校、光が丘中学校、横山小学校、水窪中学校、水窪 小学校							
	病院								
	商業施設								
	その他	西鹿島駅、天竜区役所、龍山協働センター、水窪協働センター							
収支率(%) (収益/費用)	11	.1	乗車人員	車人員(人) 9,437			37		
乗換可能な アクセス拠点等	拠点:3 バス停:7	名称	拠点:西鹿島駅 パス停:水窪町	R、JR相月駅 J、西渡、瀬原	、JR城西駅 兄、西川、横L	山車庫、相津	、山東		
広域利用状況 (他市町へ跨ぐ利	兄 (%) 用者の割合)	5.0							
増収策	・事業者HPで時刻等周知 ・回数券の設定 ・通学で使用する平日限定定期の発行 ・免許返納者を半額割引								
費用削減策	・運行状況を勘案し、適宜便数を適正化								
沿線市町の サポート	1.自主運行バスによる運行継続を実施 2. 障がいのある人にバス券等を交付(7.000円/年) 3. 浜松市地域公共交通会議での協議 4. その他の取り組み ・地域MM: 地域交通検討会、老人クラブ等の会合で啓発 ・企業MM: エコ通勤、C&R等の取り組みの協力 ・職場MM: エコ通動の日設定(毎月20日) ・ 学校MM: 事者主催のバス教室開催、乗り方DVDの配布 ・ 来庁者MM: 足ふきマットを利用した広告掲載 ・ 幹線路線への乗り継ぎを考慮した地域バス運行ダイヤ編成 ・ イベント時に公共交通を利用してもらうよう利用促進チラシの配布								

